

文化スポーツ観光部

その他事業

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	1	説明資料	17	項目番号	2(1)
事務事業名	企画課一般事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課		

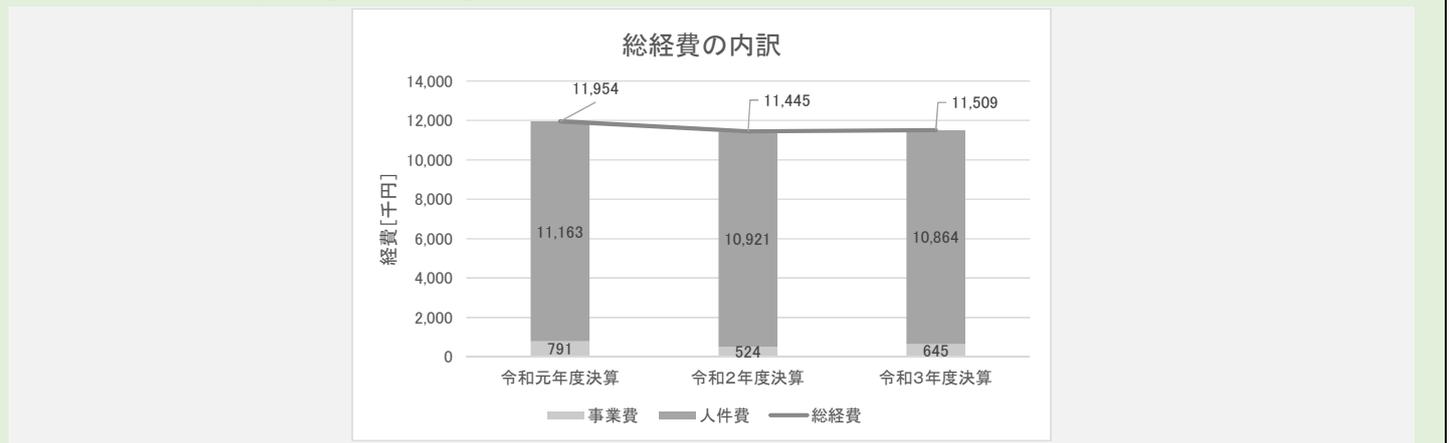
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	企画課及び部全体における事務を円滑に進める						分野別計画
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	791	524	645	1,571	千円
b 人件費	11,163	10,921	10,864	10,893	千円
正規職員	1.2	1.2	1.2	1.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	883	839	850	911	千円
総経費（a + b）	11,954	11,445	11,509	12,464	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 内部管理費 786千円 旅費(日帰り) 5千円 ボートマーケット跡地活用事業 	特になし(内部管理費のみ)	特になし(内部管理費のみ)

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	特になし
----------------------------	------

今後の事業の方向性	社会状況等に応じて見直しを行い、効率的に事務執行する。
-----------	-----------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	22	項目番号	2(1)ほか
事務事業名	文化行政推進事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

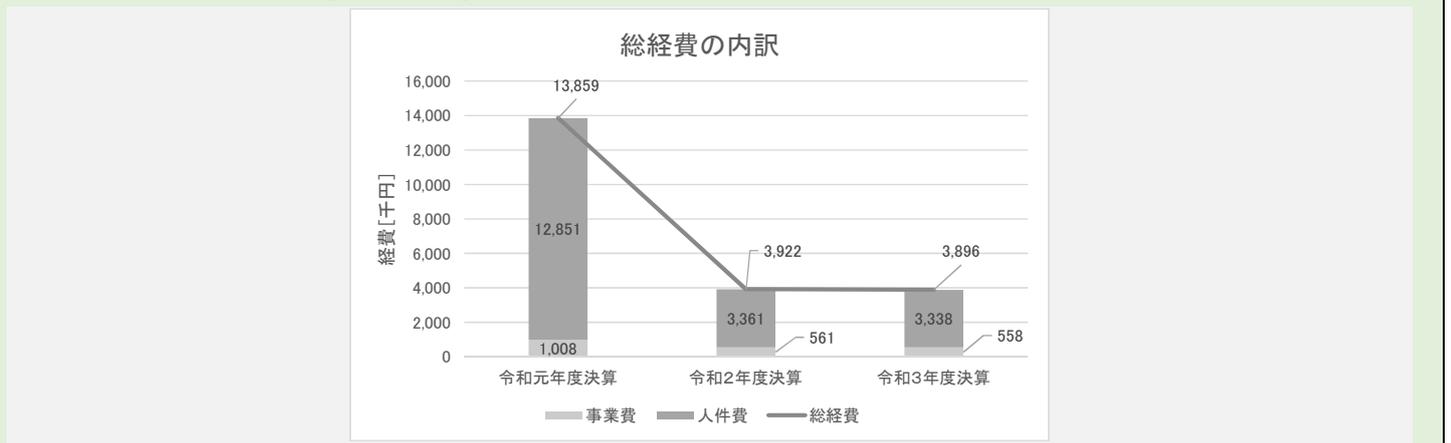
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	文化行政の総合的な企画、調整及び推進を図る。					分野別計画	
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興の基本的事項に関し、市長の諮問に応ずるため、横須賀市文化振興条例第13条に基づき、附属機関として横須賀市文化振興審議会を設置し、その運営を行う(委員数10人以内)。委嘱や市民公募委員の選定も含む。 ・4年に1回、文化振興基本計画の改訂、毎年文化振興基本計画の進捗管理 ・文化行政専門委員の委嘱(文化行政の推進にあたり、専門的な立場からの指導・助言を得るため、文化行政専門委員を委嘱する。) ・園伊玖磨氏から寄贈された楽譜等の管理を行う。 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	1,008	561	558	1,028	千円
b 人件費	12,851	3,361	3,338	3,327	千円
正規職員	1.5	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	13,859	3,922	3,896	4,355	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興審議会の実施(2回) ・海上自衛隊バンドフェスティバルの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興審議会の実施(1回) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回の予定を1回にして開催(書面開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興審議会の実施(1回) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次期文化振興基本計画の策定を次年度に見送り、4回の予定を1回にして開催(書面開催)

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	<p>当審議会は、文化振興条例に基づき、市の附属機関として設置されている。(文化振興条例第13条)</p> <p>文化振興に関する基本的事業に関し、市長の諮問に応じるために附属機関として設置されているものであり、横須賀市の文化振興の基礎として役立っている。</p> <p>令和元年度は、当初予定していた街中ミュージックと連携したコンサートを変更し、海上自衛隊艦船と連携したコンサートを開催したため、事業費が増となったが、2年度及び3年度は、新型コロナウイルスの影響で書面会議が主になってしまった。</p>
----------------------------	--

今後の事業の方向性	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、延期されている文化振興基本計画の改訂を進める。</p> <p>今後、横須賀の文化振興に関して次世代の文化振興を担う若い世代も含めた新しい委員を調査していく。</p>
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	22	項目番号	2(2)
事務事業名	市民文化資産等保存振興事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

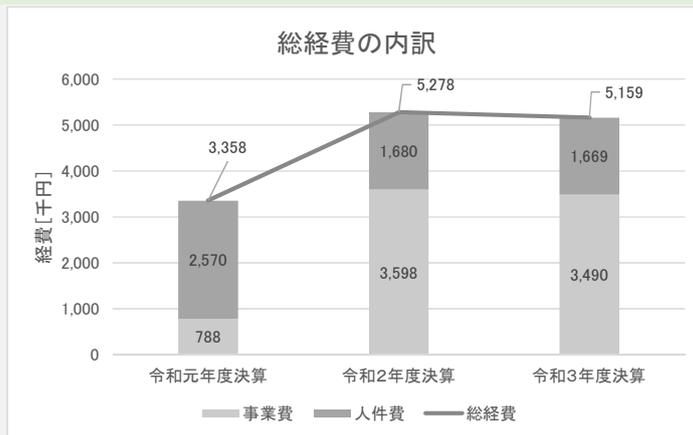
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市文化振興条例第12条「市民文化資産の指定等」の規定に基づき、市民文化資産の保存・活用を図り、本市の文化振興に資する					分野別計画	
具体的な事業内容	市民文化資産の保存・活用を行うため、以下の事業を実施している。 ・市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金の支給。(有形文化資産・建造物:60,000円、有形文化資産・建造物以外:20,000円) ・市民文化資産の修理に対する補助金の交付。(修理に要する費用のうち、10万円を超えた部分の2分の1以内の額で300万円を限度) ・新たな市民文化資産指定のため、指定候補の選定作業を調査員に依頼。 ・市民文化資産の説明板の修理等(必要に応じて張り替え、修理等を実施) ・指定件数24件(建造物8件、建造物以外16件:令和4年4月現在)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	788	3,598	3,490	4,025	千円
b 人件費	2,570	1,680	1,669	1,664	千円
正規職員	0.3	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	3,358	5,278	5,159	5,689	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア) 建造物4件 240,000 (イ) 建造物以外 240,000 ②説明版張替え等 2件 305,800	①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア) 建造物4件 240,000 (イ) 建造物以外 240,000 ②市民文化資産の修理等に対する補助金 3,000,000 ③おりょうさん説明板設置 1件(2ヶ所) 116,600 ④浦賀奉行所跡地を新規指定した	①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア) 建造物4件 240,000 (イ) 建造物以外 240,000 ②市民文化資産の修理等に対する補助金 3,000,000
年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	国・県・市の文化財には指定されていないが、市民生活に密着し広く親しまれている大切なものを市民文化資産にすることで、地域の文化的遺産を未来に継承するために役立っている。指定されているものが将来的に市の文化財になる例もある。(文化財に指定されると市民文化資産の認定は取り消しとなる)民間所有の資産については、例年修繕の補助制度を活用していただき、貴重な資産の保存活用に役立っている。また、令和2年度には浦賀奉行所跡地を新規資産として認定した。課題は市民文化資産を解説するための説明板が、作成時からの経年劣化や破損等により張替えが必要になるケースが出てきている。	
今後の事業の方向性	今後も地域の文化的遺産の保存・活用を図るため、継続して事業を実施する必要がある	

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(1)①
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	-------

事務事業名	三浦一族の史実の普及事業(地域文化推進事業)							所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課
-------	------------------------	--	--	--	--	--	--	-------	--------------------

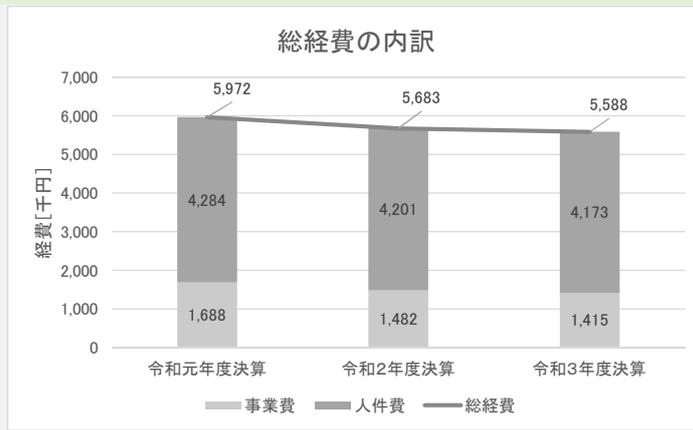
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	会員及び参加者を対象に、本市の歴史的・地域資源である、三浦一族の歴史に光をあてるため、その歴史の掘り起こしと史実の普及や研究を行い、市民文化の振興を図るとともに、市民の郷土愛を高め、文化的な潤いのある都市としてのイメージアップを図る。また、研究会活動を情報発信することにより、同様の研究を行う地域歴史研究団体と連携し、本市のPRを図る。						分野別計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、記念講演会の開催(毎年5～6月頃実施)、講演会等の実施(毎年10～11月に実施) ・学習講座の実施(2回)、入門講座の開催(全5回)、史跡めぐりの実施(年3回)、吾妻鏡を読む会の実施(月2回) ・機関誌の発行(年1回) ・その他三浦一族に関すること 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	1,688	1,482	1,415	1,510	千円
b 人件費	4,284	4,201	4,173	4,159	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	5,972	5,683	5,588	5,669	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・総会、記念講演会の開催(毎年5～6月頃実施)、講演会等の実施(毎年10～11月に実施) ・学習講座の実施(2回) ・基礎講座の開催(全5回) ・史跡めぐりの実施(年3回) ・吾妻鏡を読む会の実施(月2回) ・機関誌の発行(年1回) ・その他三浦一族に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、記念講演会の開催(毎年5～6月頃実施)、講演会等の実施(毎年10～11月に実施) ・学習講座の実施(2回) ・基礎講座の開催(全5回) ・史跡めぐりの実施(年3回) ・吾妻鏡を読む会の実施(月2回) ・機関誌の発行(年1回) ・その他三浦一族に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面総会実施(5月) ・講演会実施(12月) 参加者196名 ・入門講座の開催(3月) 参加者46名 ・吾妻鏡を読む会の実施(月2回) ・機関誌の発行(年1回) ・その他三浦一族に関すること

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	年間に多くの後援会や勉強会を行い、三浦一族研究会に三浦一族の歴史に関する普及事業を委託しているが、会員の減少や事務局の負担増が課題である。また、委託料のほかに三浦一族研究会と開国史研究会における講演会の手話通訳代が含まれる。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	会員や役員の高齢化もあり、啓発を目的に委託を行ってきたが、会の行事の実施や運営についても会員自身では執行することが難しくなっている。会が発足して約四半世紀経過し、全国規模の組織となっており、会員も横須賀市外が多く、400名を超えているため、発足当初からの目的は一定の達成したと思われる。NHK大河ドラマでも関連しているため、この先、総括まとめの期間として、会の運営も委託事業も、今後見直しを検討していきたい。
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(1)②
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	-------

事務事業名	開国期の史実の普及事業(地域文化振興事業)	所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課
-------	-----------------------	-------	--------------------

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市の歴史的地域資源である、開国期を中心とした歴史に関する普及事業を横須賀開国史研究会に委託し、その歴史の掘り起こしと研究を通じて市民文化の振興を図るとともに、市民の郷土愛を高め、文化的な潤いのある都市としてのイメージを図る。					分野別計画	
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、記念講演会の開催(毎年5月に年1回実施) ・基礎講座の開催(全3回程度)、研究講座の開催(年3回程度)、史跡めぐりの実施(年3回程度)、古文書を読む会(年2回程度)実施 ・シンポジウムの開催(毎年11月～12月に年1回実施) ・研究誌発行(年1回)、季刊会報誌(年4回)の発行 ・その他開国期の研究に関すること 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	1,500	1,356	1,357	1,705	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	4,070	3,877	3,861	4,200	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
(1) 記念講演、シンポジウム開催(2回) ・参加人数 448人 (2) 講座の回数(9回) ・参加人数 228人 (コロナ禍で一部中止又は延期) (3) 研究誌の発行(1,000部) ・研究会の会員数 418人 ※研究誌は、会員や執筆者への配布をはじめ、市内外の図書館や大学など関係機関に郵送。有償刊物として市政情報コーナーにて販売している。	(1) シンポジウム開催(1回)※記念講演中止 ・参加人数 64人 (2) 講座の回数(10回) ・参加人数 210人 (コロナ禍で一部中止又は延期) (3) 研究誌の発行(1,000部) ・研究会の会員数 383人 ※研究誌は、会員や執筆者への配布をはじめ、市内外の図書館や大学など関係機関に郵送。有償刊物として市政情報コーナーにて販売している。	(1) 講演会開催(1回)※記念講演中止 ・参加人数 73人 (2) 講座の回数(7回) ・参加人数 157人 (コロナ禍で一部中止又は延期) (3) 研究誌の発行(800部) ・研究会の会員数 337人 ※研究誌は、会員や執筆者への配布をはじめ、市内外の図書館や大学など関係機関に郵送。有償刊物として市政情報コーナーにて販売している。

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講演や講座などの企画が中止や延期になったり、会員や一般客の申し込み自粛などから参加人数が減少していることが挙げられる。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	会員の高齢化が進むだけでなく、研究会の会長や幹事も同様であり、会自体の存続も含めて今後どのように活動していくのか議論を進めて結論を出す時期に来ている。次期実施計画内に会の今後の方向性を出してもらうように働きかけていく。市としては、ティボディエ邸が開館し、ルートミュージアム構想が本格稼働したことから、郷土愛の醸成や開国のまち・レトロモダンを感じてもらおうという一定の目的を達成していることから、会の自助努力による活動を主として、調整を図っていきたい。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(2)
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	市民文化活動推進事業	所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課
-------	------------	-------	--------------------

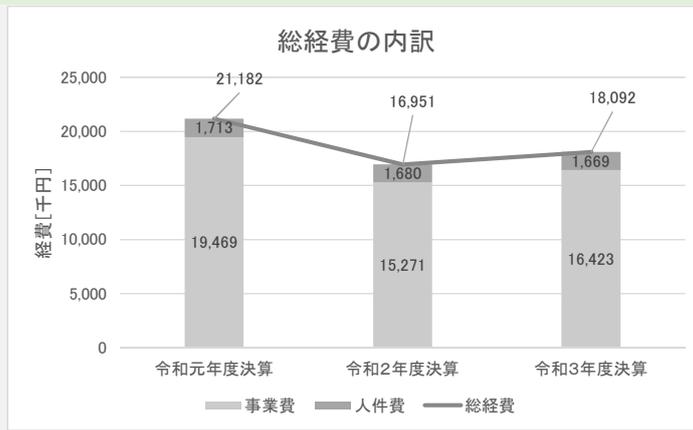
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市民に日頃の文化活動の成果の発表の機会および芸術文化鑑賞の機会を提供するなど、市民ニーズに適した各種の文化事業を実施し、市民の文化活動を支援する。					分野別計画	
具体的な事業内容	効率的な運営を図るため、事業を(公財)横須賀市生涯学習財団に委託する。事業内容等は以下のとおり。 ・市民文化祭の開催(22行事、春と秋に開催、入場者数約13,000人) ・組曲「横須賀」演奏会(年1回、入場者数約1,100人) ・市民音楽のつどい(年1回、入場者数約1,200人) ・市民合唱のつどい(年1回、入場者数約1,600人) ・カジュアルコンサート(年1回、入場者数約1,300人) ・参加型プログラムの実施(秋に開催)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	19,469	15,271	16,423	19,596	千円
b 人件費	1,713	1,680	1,669	1,664	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	21,182	16,951	18,092	21,260	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
(ア)市民文化祭 22行事(春季:2、秋季:20) 入場者:10,914人 参加者:4,594人 (イ)第36回組曲「横須賀」演奏会 4月14日 入場者:1,306人 出演者:336人 (ウ)第43回市民音楽のつどい 6月9日 入場者:650人 出演者:294人 (エ)第45回市民合唱のつどい 11月2日、3日 入場者:1,564人 出演者:1,100人 (オ)カジュアルコンサート 令和2年1月26日 入場者:1,528人 出演者:100人	(ア)市民文化祭の開催 秋季10行事 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・組曲「横須賀」演奏会 ・市民音楽のつどい ・市民合唱のつどい ・カジュアルコンサート ・参加型プログラム	(ア)市民文化祭 14行事(春季:1、秋季:13) 入場者:4,828人 参加者:1,891人 (イ)第37回組曲「横須賀」演奏会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (ウ)第44回市民音楽のつどい 7月4日 入場者:211人 出演者:124人 (エ)第46回市民合唱のつどい 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (オ)カジュアルコンサート 令和4年1月23日 入場者:534人 出演者:100人

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった行事が多かった令和2年度と比較して、令和3年度は、中止行事が少なくなり、感染対策を講じて開催でき前年度比は改善したものの、コロナ稼以前と比較すると決算額は減少している。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	市民の文化活動を推進するため、継続していく。
-----------	------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	27	項目番号	3(3)
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	文化団体支援事業	所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課
-------	----------	-------	--------------------

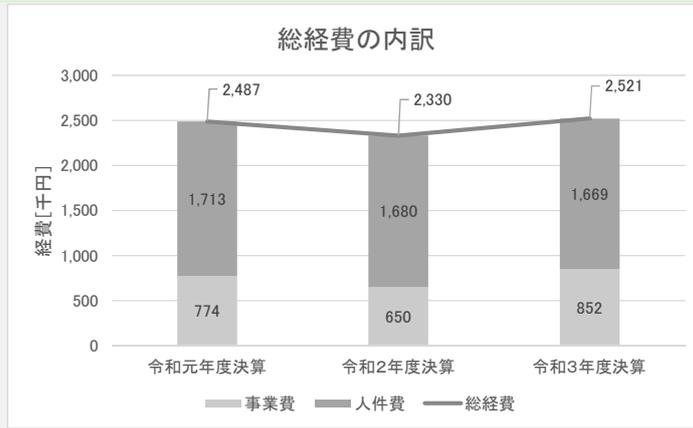
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市内の文化団体の活動に対し、支援・補助を行うことにより、本市の文化活動の活性化を目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化団体が主催する事業に対して、市の共催・後援名義の使用を承諾し、文化団体の活動を支援する。 共催・後援名義の使用を承諾した事業のうち、公募作品展などに対して、市長賞として賞状および、トロフィー等の賞品を交付する。 市内の各種文化団体を統括する横須賀文化協会に補助金を交付することで、横須賀文化協会の活動を促進する。 ※横須賀文化協会…構成団体21団体、構成人数1,658人(令和3年度)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	774	650	852	884	千円
b 人件費	1,713	1,680	1,669	1,664	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,487	2,330	2,521	2,548	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 共催及び後援名義承諾件数 56件(共催:4件、後援:52件) 市長賞交付件数 12件(賞状:8件、楯:4件) 横須賀文化協会補助金 1件(751,267円) 	<ul style="list-style-type: none"> 共催及び後援名義承諾件数 36件(共催:4件、後援:32件) 市長賞交付件数 6件(賞状:4件、楯:1件、トロフィー:1件) 横須賀文化協会補助金 1件(638,126円) 	<ul style="list-style-type: none"> 共催及び後援名義承諾件数 41件(共催:2件、後援:39件) 市長賞交付件数 7件(賞状:5件、楯:1件、トロフィー:1件) 横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等の中止とともに後援名義及び市長賞の申請が減少傾向にあったが、令和3年度に入って少し回復してきている。また、横須賀文化協会においても事業の中止や規模縮小で補助額が減少したが、令和3年度に感染対策がしっかりとられて事業活動が再開され、補助金が増えた。
----------------------------	---

今後の事業の方向性	市民の文化団体の活動を支援するため、継続する。
-----------	-------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	28	項目番号	4(1)
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	歴史文化基金積立金							所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		
-------	-----------	--	--	--	--	--	--	-------	--------------------	--	--

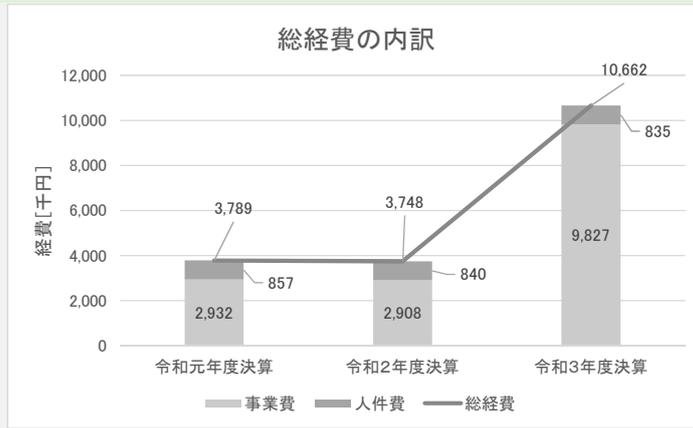
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を歴史文化基金に積み立て、文化の継承に資する事業の振興を図る。						分野別計画	
具体的な事業内容	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を、歴史文化基金へ積み立てる。 歴史文化基金は、市民文化資産保存振興事業のほか、明日の文化の担い手育成事業、文化財に関する事業などへ活用することにより、文化の継承に資する事業の振興を図るための財源となっている。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,932	2,908	9,827	3,441	千円
b 人件費	857	840	835	832	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,789	3,748	10,662	4,273	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化基金利子収入 8,503円 ふるさと納税 92件 2,923,000円 合計 2,931,503円 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化基金利子収入 8,236円 ふるさと納税 108件 2,899,000円 合計 2,907,236円 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化基金利子収入 1,201円 ふるさと納税 142件 9,825,000円 合計 9,826,201円

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	歴史文化基金の取り崩しを毎年行っているため、基金残高の減少とともに利子収入は減少している。一方、ふるさと納税については、年度により件数と金額が異なっているが、令和3年度は、ふるさと納税の大幅な増により、歴史文化基金積立金の合計額が増加している。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	地元の歴史文化の継承に資するための基金として、引き続き取り組んでいきたい。
-----------	---------------------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	30	項目番号	2(1)
-------	----	------	---	---	---	---	---	----	------	----	------	------

事務事業名	芸術劇場管理事業	所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課
-------	----------	-------	--------------------

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。また、複合施設である「ベイスクエアよこすか一番館」に属して、施設の共有部分の管理においても重要な位置を占めている。					分野別計画	
具体的な事業内容	芸術劇場は、公共性、文化性が高い事業を施設管理と一体となって実施し、利用料金収入と指定管理料を財源に舞台音楽芸術普及事業、育成事業、各種サービス事業を展開している。平成18年度から指定管理者制度が導入され、指定管理者による管理運営となった。直近では平成24年に公募による指定管理者選定を実施し、公益財団法人横須賀芸術文化財団が選ばれ、現在も運営している。また、複合施設であるベイスクエアよこすか一番館に属するため、施設の共有部分の管理にかかる経費を所有割合に応じて市が負担している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	553,431	542,100	615,992	622,990	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	556,001	544,621	618,496	625,485	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料405,118,578円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金141,798,502円） ・舞台用備品の購入（備品購入費3,364,050円） ・その他事務（3,149,442円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金127,137,307円） ・舞台用備品の購入（備品購入費2,642,640円） ・その他事務（10,101,307円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金141,346,187円） ・舞台用備品の購入（備品購入費1,944,470円） ・その他事務（70,482,869円）

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<ul style="list-style-type: none"> ・負担金は令和2年度に新型コロナウイルスの影響に伴う積立金の徴収凍結(3か月)があったが、令和3年度は通常の徴収となった。 ・その他事務費は、令和2年度分の新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填を実施した(67,369,719円)。
----------------------------	---

今後の事業の方向性	事業としては維持継続すべきと考えるが、普及事業や育成事業など文化施策にかかわる事業の在り方については検討する必要がある。
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	31	項目番号	2(2)
事務事業名	文化会館等管理事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

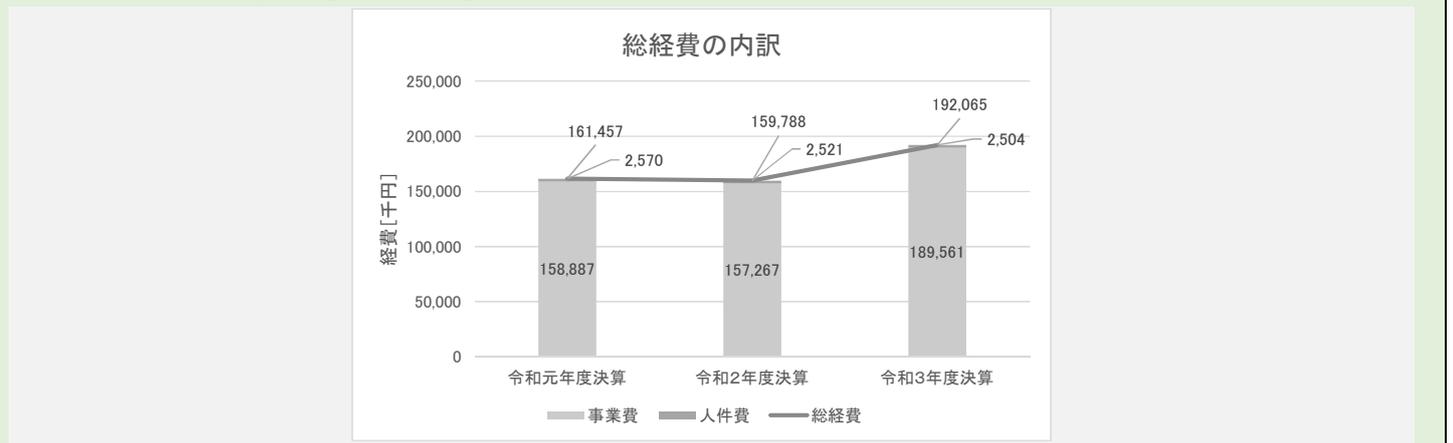
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	文化会館、はまゆう会館は、平成18年度から指定管理者制度が導入され、利用料金収入と指定管理料を財源に指定管理者による管理運営を実施している。直近では、令和3年に公募による指定管理者選定を実施し、よこすか文化パートナーズが選ばれ、現在も運営している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	158,887	157,267	189,561	190,042	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	161,457	159,788	192,065	192,537	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 文化会館、はまゆう会館の管理運営（指定管理料155,187,465円） PCB廃棄物の処理（業務委託料1,269,708円） 舞台備品の購入（備品購入費819,500円） その他事務（1,609,560円） 	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館、はまゆう会館の管理運営（指定管理料150,399,120円） PCB廃棄物の調査（業務委託料1,980,000円） 舞台備品の購入（備品購入費990,000円） その他事務（3,897,114円） 	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館、はまゆう会館の管理運営（指定管理料150,399,120円） 舞台備品の購入（備品購入費893,200円） その他事務（38,268,184円）

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<ul style="list-style-type: none"> その他事務費は、令和2年度分の新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填を実施した(37,105,343円)。
----------------------------	---

今後の事業の方向性	文化会館、はまゆう会館ともに老朽化に伴う建替えの可能性も視野に入れつつ、利用者の利便性のさらなる向上を図るとともに、適正な指定管理料の設定に心掛け、今後も維持継続していく。
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	32	項目番号	3(1)
事務事業名	芸術劇場設備更新事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

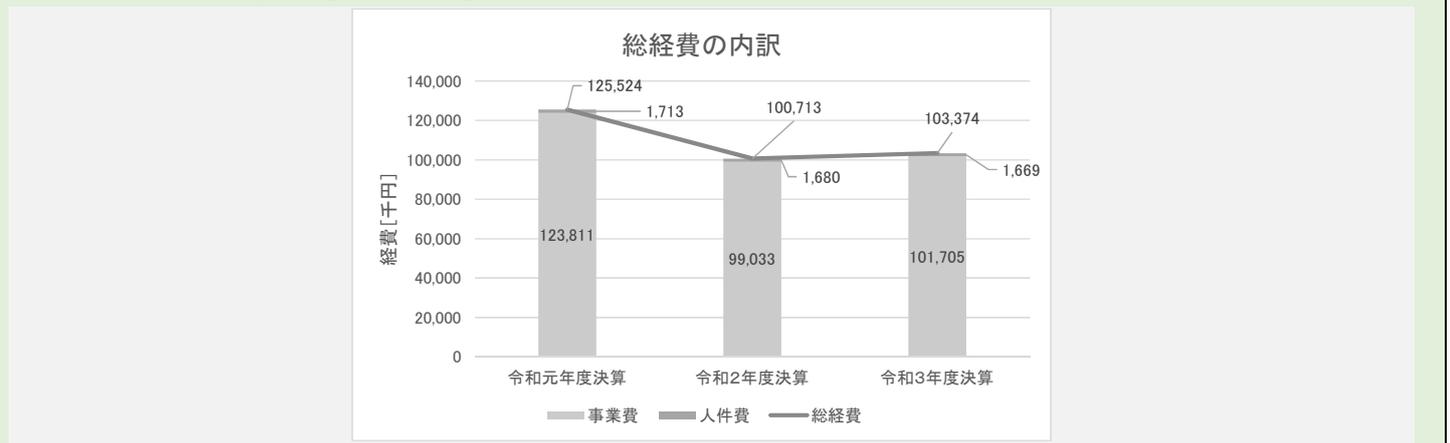
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賅いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。						分野別計画
具体的な事業内容	各設備の耐用年数や使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	123,811	99,033	101,705	102,577	千円
b 人件費	1,713	1,680	1,669	1,664	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	125,524	100,713	103,374	104,241	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・舞台機構設備修繕(50,292,000円) ・舞台照明設備修繕(8,250,000円) ・舞台音響設備修繕(9,405,000円) ・建物設備修繕・工事(51,896,900円) ・天井改修事前調査(業務委託料3,960,000円) ・その他事務(7,101円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台機構設備修繕(79,827,000円) ・舞台照明設備修繕(3,630,000円) ・建物設備修繕(8,712,000円) ・天井改修追加調査(業務委託料6,864,000円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台機構設備修繕(70,400,000円) ・舞台照明設備修繕(1,829,300円) ・建物設備修繕(26,875,200円) ・その他事務(2,600,000円) ※天井改修工事基本設計(業務委託料31,300,000円)を令和4年度に繰越明許。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	毎年の修繕箇所が違うことにより金額に差異が生じる。
----------------------------	---------------------------

今後の事業の方向性	計画的な修繕等を実施しているが、経年的な劣化は避けられない。令和6年、7年に計画している特定天井の改修工事の実施に合わせ、その他付随する箇所の修繕を計画的に実施する必要がある。
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	32	項目番号	3(2)
事務事業名	文化会館等設備更新事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課		

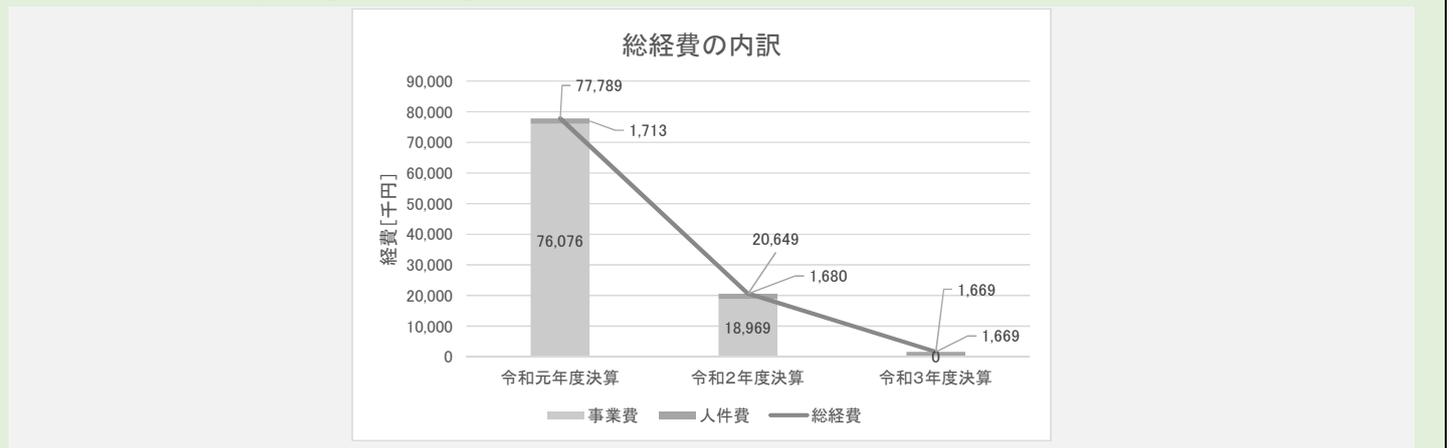
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賅いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。						分野別計画
具体的な事業内容	各設備の耐用年数や使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	76,076	18,969	0	0	千円
b 人件費	1,713	1,680	1,669	1,664	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	77,789	20,649	1,669	1,664	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・舞台照明設備修繕(60,617,403円) ・建物設備修繕・工事(15,458,280円) ・その他事務(3,672円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台機構設備修繕(2,970,000円) ・建物設備修繕・工事(15,994,000円) ・その他事務(4,334円) 	なし ※建物設備修繕(22,289,000円)を令和4年度に繰越明許。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>毎年の修繕箇所が違ふことにより金額に差異が生じる。 予定していたはまゆう会館の建物設備修繕が年度内に業務が終了しなかったことにより修繕料令和4年度に繰り越した。</p>
----------------------------	--

今後の事業の方向性	<p>計画的な修繕等は実施しているが、経年的な劣化は避けられない。費用が圧縮できるよう関係者で協議を継続していくほか、建て替えの可能性についても検討していく必要がある。</p>
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	2	目	1	説明資料	38	項目番号	4(1)
事務事業名	プレミアム付商品券事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 商業振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	令和4年
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	プレミアム付きの商品券「よこすか『地元のお店』応援券 第二弾」を発行し、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の復興を促進する。						分野別計画
具体的な事業内容	プレミアム率25%のプレミアム付き商品券の発行						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	453,598	565,801	667,907	680,070	千円
b 人件費	34,481	16,804	16,690	0	千円
正規職員	3.0	2.0	2.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	8,780	0	0	0	千円
総経費（a + b）	488,079	582,605	684,597	680,070	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<p>【国の施策】 国主導により、消費税の税率引き上げに対する影響緩和策として、低所得者、子育て世帯に対してプレミアム付き商品券を発行。</p> <p>プレミアム率25% 発行総額 688,050,000円</p>	<p>【市独自の施策】 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の復興を促進するため、プレミアム付きの商品券を発行。</p> <p>プレミアム率25% 発行総額 2,037,875,000円</p>	<p>【市独自の施策】 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の復興を促進するため、プレミアム付きの商品券を発行。</p> <p>プレミアム率25% 発行総額 2,488,500,000円</p>
<p>年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）</p> <p>令和元年度に実施した商品券は、消費税の引き上げに伴い市民税非課税者および子育て世帯を対象とした国の事業。非課税者からの購入申請が半数以下だったため、支出が想定より少なくなった。 令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大の経済対策として、全市民・在学・在勤者を対象に実施した。令和3年度は前年度が好評であったことから、発売数を増やして実施した。 販売冊数: 令和2年度 163,030冊 令和3年度 199,080冊</p>		
<p>今後の事業の方向性</p>	<p>毎年度実施する事業ではないが、事業効果の把握や分析を行い、次に実施する際の参考としていく。</p>	

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	2	目	1	説明資料	39	項目番号	5(1)
事務事業名	マイナポイント活用促進事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 商業振興課		

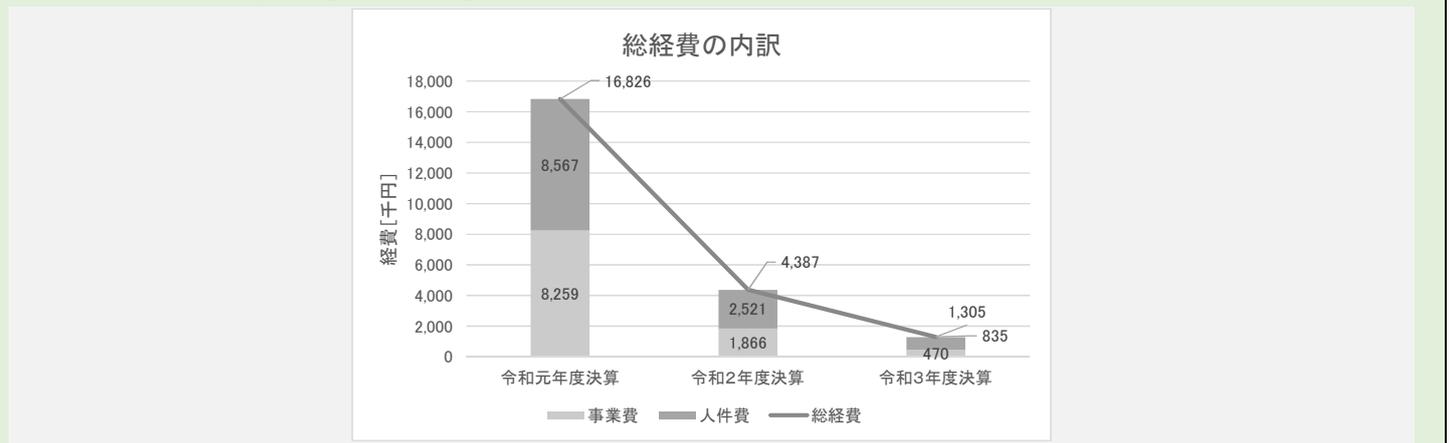
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和4年
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令							
事業目的	国が行うマイナンバーカードの普及促進と消費税率引き上げに伴う需要平準化策及びキャッシュレス化の促進を目的としたマイナポイント利用を推進するため、市民への周知を行う。					分野別計画	
具体的な事業内容	市民へのマイナポイント制度の周知を実施。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	8,259	1,866	470	1,233	千円
b 人件費	8,567	2,521	835	832	千円
正規職員	1.0	0.3	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	16,826	4,387	1,305	2,065	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
令和元年度はマイキーID設定支援事業として実施。マイナンバーカード普及促進のために国が始めたマイナポイント事業について、市民への周知及び設定支援のため案内窓口の開設。	マイナポイント事業の啓発、周知の実施。（設定支援の案内窓口運営は、マイナンバーカードとの連続性を図るため、窓口サービス課に業務移管。）	マイナポイント事業の啓発、周知の実施。令和3年12月でマイナポイント第1弾終了に伴い事業終了。令和4年1月以降の第2弾は啓発、周知を含め、全て窓口サービス課にて実施。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	活動実績の記載のとおり。
----------------------------	--------------

今後の事業の方向性	マイナポイント第1弾の終了に伴い令和3年12月で商業振興課としての事業は終了した。令和4年1月から開始したマイナポイント第2弾は窓口サービス課単独で実施していく。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	46	項目番号	3(3)
事務事業名	日米親善よこすかスプリングフェスタ事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

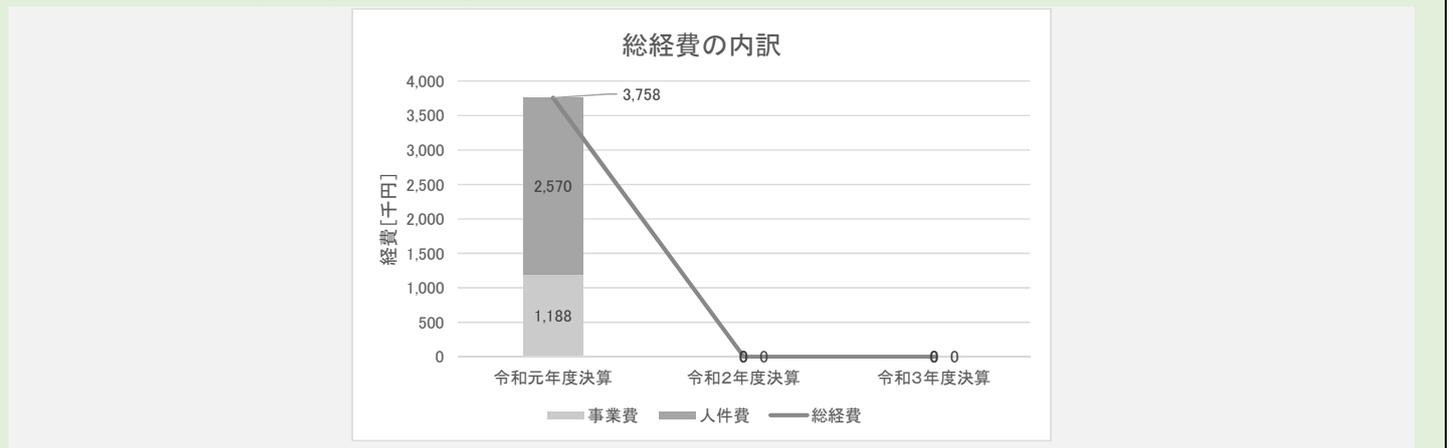
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	「日米親善よこすかスプリングフェスタ」を開催することで、日米間の友好親善を図ること、ひいては『横須賀の観光』のイメージアップを推進し、交流人口の増加を図る。					分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,188	0	0	5,136	千円
b 人件費	2,570	0	0	2,495	千円
正規職員	0.3	0.0	0.0	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,758	0	0	7,631	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）

・過去3年間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止していることにより、総経費の推移の分析は難しいが、従前から約5,000千円の規模で事業を実施している。

今後の事業の方向性

・天候にも左右されるが、例年30,000～40,000人の方にご来場いただき、米海軍横須賀基地内の桜や各種イベントを楽しんでいただいております。また、日米間の友好親善を図ることができる数少ないイベントの一つであることから、引き続き米海軍横須賀基地と協力しながら事業を実施していきたい。

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	47	項目番号	4(1)
事務事業名	観光団体助成事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

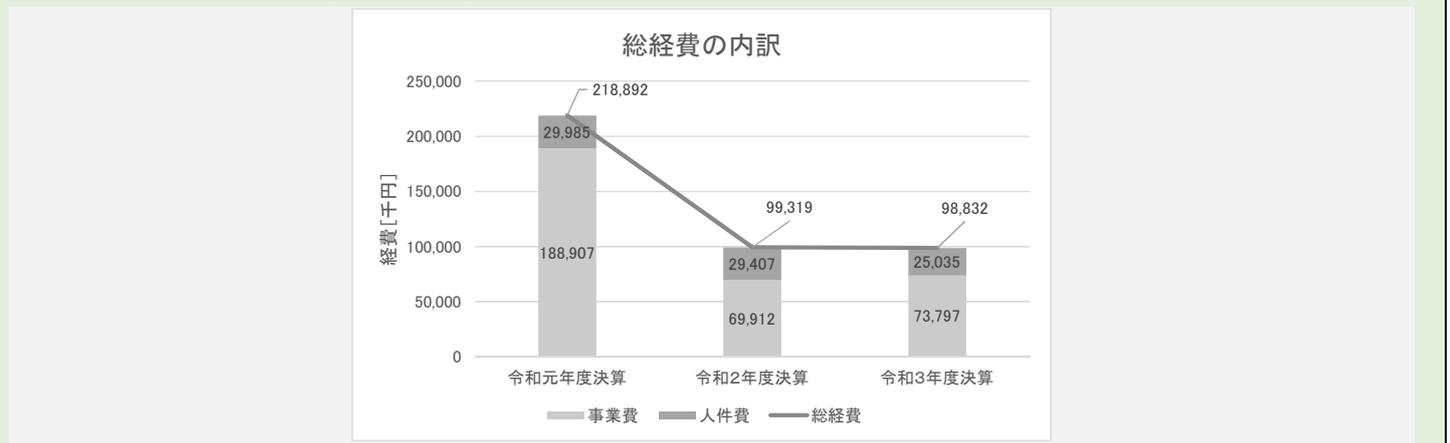
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことで、本市の観光振興・経済の活性化を図る。					分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	1(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付(観光案内所の運営、よこすかシティガイドの活動支援、人件費等) 2(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付(よこすかYYのりものフェスタ、よこすかみこしハレード、日米親善ベース歴史ツアー、海上自衛隊戸台分庁舎ガイドツアー、海上自衛隊戸台分庁舎一般公開) 3カレーの街よこすか推進委員会への負担金(・広報活動、キャンペーン事業・イベント活動(よこすかカレーフェスティバル等の開催)・宣伝物制作(よこすか海軍カレーガイドブック等)) 4各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 5観光行事への市長賞交付 6海水浴場の開設補助						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	188,907	69,912	73,797	85,018	千円
b 人件費	29,985	29,407	25,035	22,459	千円
正規職員	3.5	3.5	3.0	2.7	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	218,892	99,319	98,832	107,477	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
(1)(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2)(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 2020年よこすか開国祭ほか6件 (3)カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア 「よこすかカレーフェスティバル2019」の開催 イ 「よこすか海軍カレーガイドブック」等の発行 2種類 計34,000部 (4)各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計34件 イ 各種観光団体主催事業 計6件 (5)観光行事への市長賞交付 計9件 (6)海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)	(1)(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2)(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種イベントは開催中止。ただし、日米親善ベース歴史ツアーのみ開催。 (3)カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア よこすかカレーフェスティバル2020 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止 イ 「よこすか海軍カレーガイドブック」等の発行 2種類 計50,000部 (4)各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計11件 イ 各種観光団体主催事業 計2件 (5)観光行事への市長賞交付 計4件	(1)(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2)(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種イベントは開催中止。ただし、日米親善ベース歴史ツアーのみ開催。 (3)カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア よこすかカレーフェスティバル2021 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止 (4)各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計12件 イ 各種観光団体主催事業 計3件 (5)観光行事への市長賞交付 計6件 (6)海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)

年度ごとの推移の分析

(【総経費の内訳】の増減理由等)

- 令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大型イベントが中止となり、例年に比べ経費が大幅に減少した。
- 大型イベントが実施できていた令和元年度以前の総経費は、約2.2億円で推移しており、ほぼ横ばいである。

今後の事業の方向性

- 当該事業は、各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことが地元経済の活性化の一助となっている。
- また、本市観光振興の中核的組織である(一社)横須賀市観光協会への支援も、今後更なる機能強化推進のために継続する必要がある。
- 大型イベントなど各事業における経費負担については、近年は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていない状況ではあるが、引き続き適正化を図る必要があると考えるため、イベント実施における経費負担を整理し、自主財源の確保や出店者への負担を検討する。

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	49	項目番号	5(1)
事務事業名	観光地整備・美化事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 観光課		

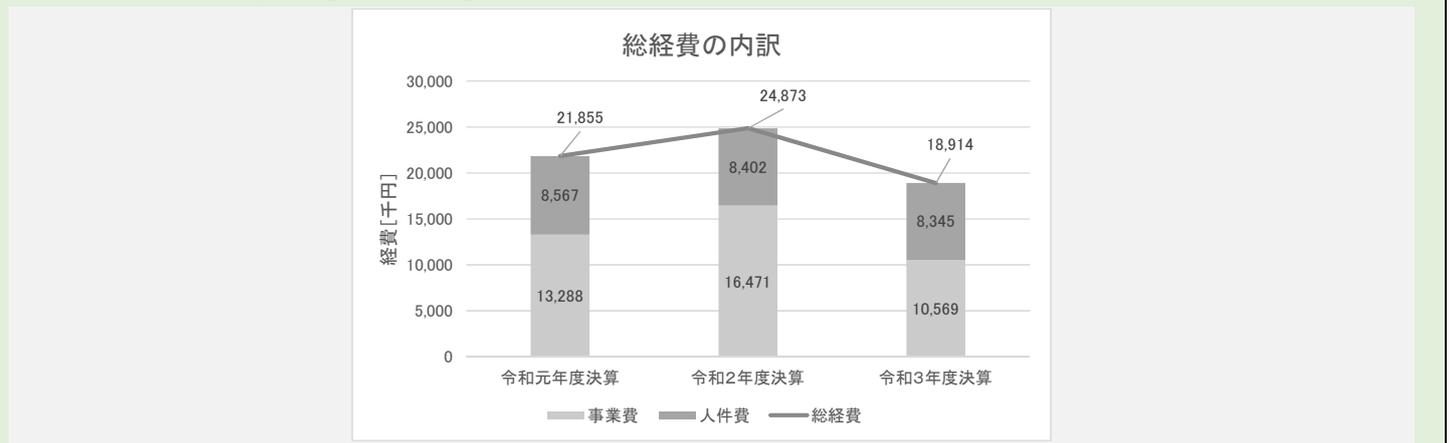
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	観光施設の整備及び観光地の美化事業を行うことにより、観光客に快適なレクリエーションの場を提供する。					分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 (2)観光地の美化清掃 (3)ハイキングコース巡視業務 (4)観光施設案内看板等修繕 (5)Yデッキおよび横須賀駅デジタルサイネージ維持管理						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	13,288	16,471	10,569	13,551	千円
b 人件費	8,567	8,402	8,345	8,318	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	21,855	24,873	18,914	21,869	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山休憩所・大楠山公共トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠山公共トイレ用地借上げ (2)観光地の美化清掃 ア ハイキングコース等美化清掃委託 大楠山ほか8か所 延 94回 イ 観光地ゴミ収集運搬委託 大楠山山頂、武山山頂 延39回 (3)ハイキングコース巡視業務 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)観光施設案内看板等修繕 大楠山山頂展望塔小破修繕ほか 5件 (5)Yデッキおよび横須賀駅デジタルサイネージ維持管理	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山休憩所・大楠山公共トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠山公共トイレ用地借上げ (2)観光地の美化清掃 ア ハイキングコース等美化清掃委託 大楠山ほか8か所 延 94回 イ 観光地ゴミ収集運搬委託 大楠山山頂、武山山頂 延39回 (3)ハイキングコース巡視業務 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)観光施設案内看板等修繕 大楠山公共トイレ扉小破修繕ほか 6件 (5)Yデッキおよび横須賀駅デジタルサイネージ維持管理	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山休憩所・大楠山公共トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠山公共トイレ用地借上げ (2)観光地の美化清掃 ア ハイキングコース等美化清掃委託 大楠山ほか8か所 延89回 イ 観光地ゴミ収集運搬委託 大楠山山頂、武山山頂 延39回 (3)ハイキングコース巡視業務 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)観光施設案内看板等修繕 大楠山山頂展望台小破修繕 (5)Yデッキおよび横須賀駅デジタルサイネージ維持管理

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	・観光施設やハイキングコースにおいて、観光案内板等の設置、老酸化した擬木階段や案内標識等の改修、通路やトイレ等の清掃・維持管理等により観光客の利便性を図っている。 ・美化清掃委託やゴミ収集運搬委託、ハイキングコース等の小破修繕など定例的な経費であるため、大幅な増減はない。
----------------------------	---

今後の事業の方向性	大楠山山頂ビューハウスや武山アゼリアハウスなどの観光施設やハイキングコース等を市が管理・指定している間は、引き続き事業を継続する必要がある。
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	8	目	8	説明資料	55	項目番号	2(2)
事務事業名	美術館教育普及事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

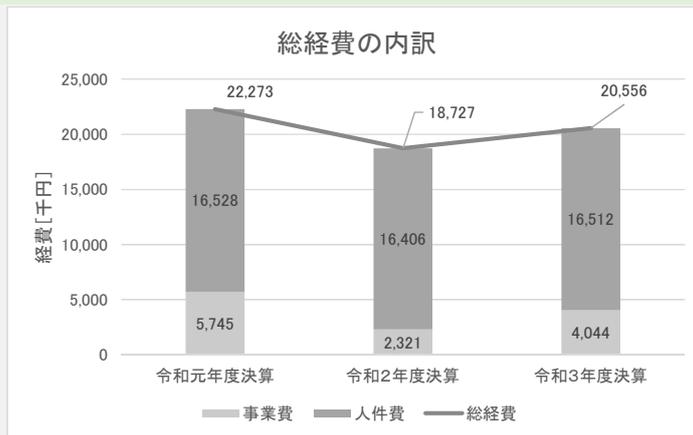
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	美術への理解を深め、美術館への親しみが持てるように、講演会やワークショップを開催するとともに、要望に応じた鑑賞補助プログラムや、学校と連携した鑑賞教育を実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、ワークショップ、ギャラリートーク等教育普及事業の実施。 ・美術館ボランティアに対する研修およびイベント開催のサポート。 ・作品理解や展覧会理解のための印刷物、動画等のコンテンツ制作。 ・小学生美術鑑賞会等の学校連携事業。 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,745	2,321	4,044	5,981	千円
b 人件費	16,528	16,406	16,512	16,504	千円
正規職員	1.6	1.6	1.6	1.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	2,821	2,963	3,160	3,195	千円
総経費（a + b）	22,273	18,727	20,556	22,485	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<p>(1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会18回、ワークショップ10回、パフォーマンス2回、ギャラリートーク61回。 上記の総参加者数 2418人。</p> <p>(2) 展覧会関連以外の教育普及事業 講演会1回、ワークショップ18回、映画会4回、ボランティアイベント11回。 上記の総参加者数 2799人。</p> <p>(3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 115回。 上記の総参加者数 5353人。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業を中止し、一部は代替えとして動画等を制作した。</p> <p>(1) 展覧会関連の教育普及事業 全事業中止。参加者0人。 ギャラリートーク等の動画8本をYouTubeにて公開。</p> <p>(2) 展覧会関連以外の教育普及事業 講演会中止、ワークショップ6回、映画会2回、ボランティアイベント中止。総参加者数 94人。 ボランティアによるWebコンテンツ11本を公開。 映画紹介の動画1本をYouTubeにて公開。 障害児者対象のワークショップ動画4本をYouTubeにて公開。</p> <p>(3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 15回。総参加者数 404人。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業を中止し、代替えとして動画等を制作した。</p> <p>(1) 展覧会関連の教育普及事業 ワークショップ6回 参加者計68人 野外ワークショップ・イベント3回 参加者計1125人 オンライン講演会・トーク動画の制作と公開16本 ZOOMワークショップ2回 参加者計15人 ワークショップ・パフォーマンス動画の制作と公開7本</p> <p>(2) 展覧会関連以外の教育普及事業 ワークショップ6回 参加者計65人 ZOOMワークショップ1回 参加者計17人 映画会・野外イベント5回 参加者計2695人 WEBトーク・ワークショップの制作と公開 7本</p> <p>(3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 70回。総参加者数4209人。</p>
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	事業対象をきめ細かく設定し、対象に合った的確なテーマと内容で実施することで、一定の支持が得られていると考える。オンライン事業についても、再生回数等から見て、十分な効果を上げていると考える。ただし、オンライン事業と対面事業の両立は、職員の仕事を増大させており、また、コンテンツの制作に経費がかかることや、オンライン事業の場合に参加費徴収が難しいことなど、新たな課題が顕在化している。	
今後の事業の方向性	令和2年度以降、積極的に導入してきた動画およびオンラインによる教育普及事業は、令和3年度において、一定のノウハウが蓄積でき、効果的な活用が進んだ。一方で、対面型事業へのニーズは変わらず高いことから、今後は、対面型の事業とオンライン型の事業とのバランスや、両者の効果的な使い分けを考慮し、いっそうの高い事業効果を目指したい。	

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	8	目	8	説明資料	55	項目番号	2(3)
事務事業名	美術品収集管理保管事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

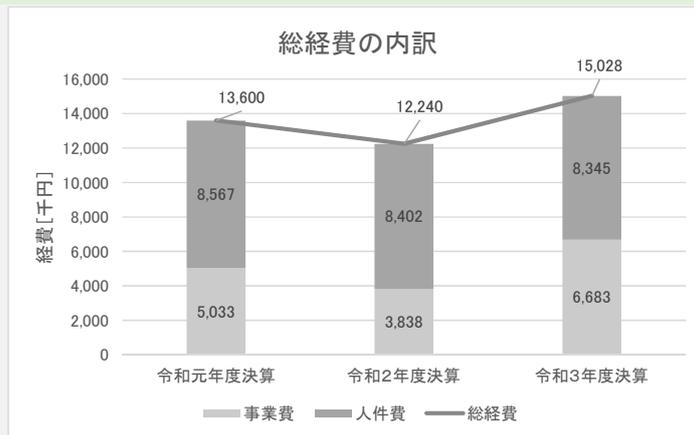
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	所蔵作品を館内外の展示等で有効に活用するため、美術館の使命の一つである美術品の収集、保存、管理を適切に行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品収集のための調査 ・横須賀美術館美術品評価委員会の開催 ・美術品の受け入れ(購入、寄贈等) ・所蔵作品の修復および額装 ・所蔵作品の貸し出し ・収蔵・展示施設の環境調査 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,033	3,838	6,683	7,272	千円
b 人件費	8,567	8,402	8,345	8,318	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	13,600	12,240	15,028	15,590	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・美術品の整理 修復1点、額装6点(新規5点/改修1点)、マット装43点。 ・美術品評価委員会の開催 新型コロナウイルス感染症の影響で中止。 ・作品の受け入れ 0点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 7件、貸出点数20点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品の整理 額装7点(改修7点)、マット装80点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 寄贈18点、所管替3点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 7件、貸出点数76点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品の整理 修復3点、額装11点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入1点、寄贈3点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 3件、貸出点数4点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和元年度に新設した美術品等取得基金を財源として、令和3年度に美術品(1点)を初めて購入し、1800(千円)を支出したため、前年度までに比して事業費が大きく増加している。 美術品の受け入れにかかる運搬費、所蔵作品の修復・額装費等は、前年度と比べて微増しているが、前年度にコロナの影響で不用額が大きくなったためであり、おおよそ例年並みといえる。	
今後の事業の方向性	従来の寄贈に依存した状態から、購入の選択肢が加わったことにより、収集方針に即した体系的な収集をより積極的に進めてゆく。 一方で、有限である収蔵施設の空間と環境を適正な状態に保つため、作品の整理および清掃等を継続して行う。 所蔵作品について、必要な写真撮影等を含む情報の整理、データベースの公開を進め、さらなる活用につなげてゆく。	

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	8	目	8	説明資料	57	項目番号	3(1)-(21)
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	-----------

事務事業名	美術館管理事業							所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課
-------	---------	--	--	--	--	--	--	-------	---------------------

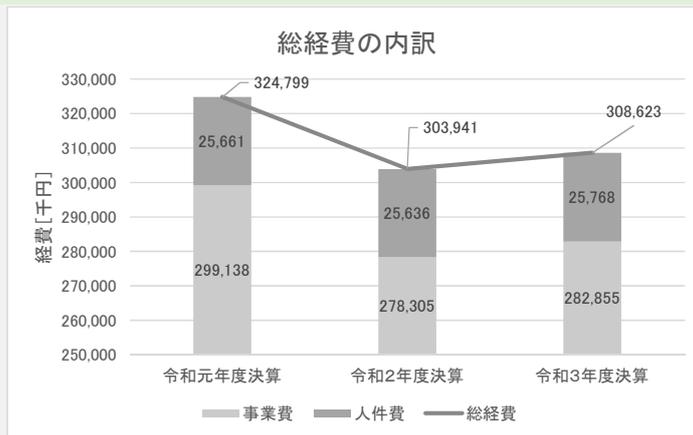
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 横須賀美術館を適正に維持管理し、施設を永く維持できるようにする。 円滑な運営を行うことで、利用者の満足度を高める。 					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び敷地の適正な維持管理。 受付・展示監視及び施設の清掃、警備、各種設備の保守管理等を行う委託業者との連絡調整。 委託事業者、レストラン、ミュージアムショップと連携し、ホスピタリティのある来館者サービスを実施。 						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	299,138	278,305	282,855	290,725	千円
b 人件費	25,661	25,636	25,768	25,726	千円
正規職員	2.4	2.4	2.4	2.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	5,100	5,471	5,740	5,763	千円
総経費（a + b）	324,799	303,941	308,623	316,451	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 開閉動作に不具合が生じていた正面入口（自動ドア）の修繕や、落雷により使用不能となった高圧ケーブルの交換工事 空調熱源関連設備の故障や経年劣化部分についての部品交換や修理 展示ケース照明のLED化等の調光関連修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 本館外回りのガラスを支えるサッシの腐食が目立ち、耐久性と美観に問題があったことによる塗装工事と一部建具の改修 本館ガラス屋根のうち、一部破損している3枚の交換修理 	<ul style="list-style-type: none"> 谷内六郎館外回りのガラスを支えるサッシの腐食が目立ち、耐久性と美観に問題があったことによる建具の改修 谷内六郎館で雨漏りが発生したために実施した屋根の防水工事

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対策に伴う美術館の臨時休館および、4月～6月に行われた職員の在宅勤務を実施した。これによる受付展示監視員の削減、電気水道使用量の減等の理由により事業費減となった。</p> <p>令和3年度は、谷内六郎館外回りのガラスを支える建具の改修、谷内六郎館屋根の防水工事等、大規模修繕を実施したため、令和2年度と比較し事業費増となった。</p>
----------------------------	---

今後の事業の方向性	<p>施設の維持管理には常に気を配り、費用対効果を考慮しながら修繕等のメンテナンスを行っていく。現状を維持しながらも、サービス向上のために新たな取組みを検討していく。</p>
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	8	目	8	説明資料	58	項目番号	4(1)
事務事業名	美術品等取得基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

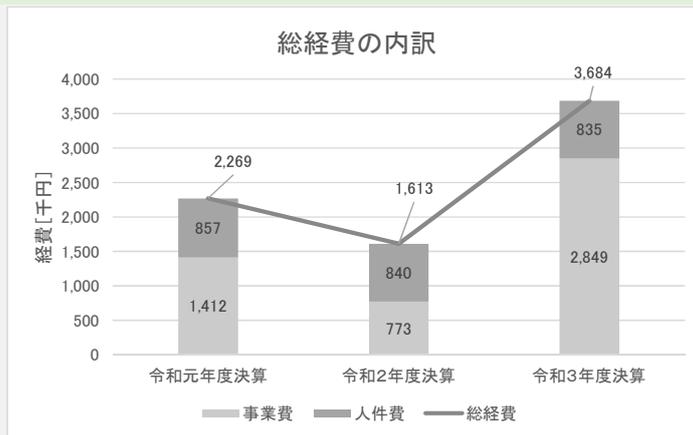
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	美術館運営に必要な美術品及び美術に関する資料を取得する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	ふるさと納税による寄付を美術品等取得基金に積立を行い、将来の美術品購入の財源とする。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,412	773	2,849	2,849	千円
b 人件費	857	840	835	832	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,269	1,613	3,684	3,681	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<p><現金> 平成30年度末 現在高 397,211 円 令和元年度中 積立額 42 円 令和元年度末 現在高 397,253 円</p>	<p><現金> 令和元年度末 現在高 397,253 円 令和2年度中 積立額 1,412,162 円 令和2年度末 現在高 1,809,415 円</p>	<p><現金> 令和2年度末 現在高 1,809,415 円 令和3年度中 積立額 773,000 円 令和3年度中 取崩額 1,800,000 円 令和3年度末 現在高 782,415 円</p>

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	<p>・令和2年度までの積立金が一定額に達したため、令和3年度に基金を取り崩して特定財源として活用し、横須賀美術館収集方針に基づいて美術品を購入した。</p>
----------------------------	---

今後の事業の方向性	<p>・令和4年度も横須賀美術館収集方針に基づいて美術作品を購入する予定である。</p>
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	60	項目番号	2(1)ほか
事務事業名	スポーツ推進審議会								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

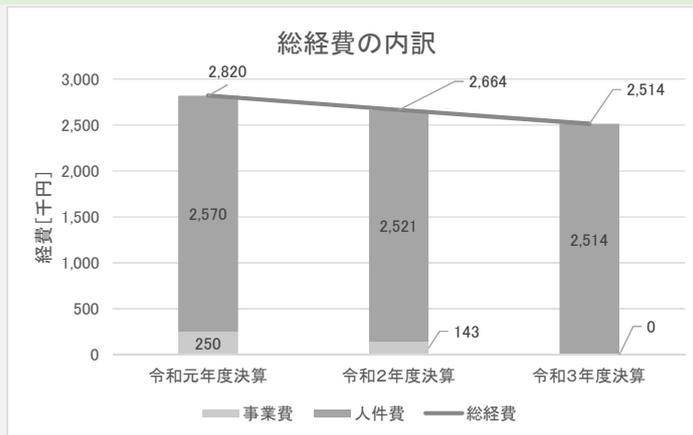
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第31条、スポーツ推進審議会条例						
事業目的	本市のスポーツ推進の重要事項について調査審議する					分野別計画	
具体的な事業内容	委員は13名で、その内訳は、公募市民1名、関係団体代表者11名(体育協会、学区体育振興会、医師会、レクリエーション協会、商工会議所、スポーツ少年団、スポーツ指導者競技会、中学校体育連盟、小学校体育研究会、スポーツ推進委員協議会、肢体障害者協会)、学識経験者1名で構成されている。年度内に2~3回会議を開き本市のスポーツ推進に関し審議を重ねている。主な審議内容は、毎年度のスポーツ関係事業の進捗状況や当該年度の予算主要事業の報告並びに計画策定など。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	250	143	0	487	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,514	2,505	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	10	10	千円
総経費（a + b）	2,820	2,664	2,514	2,992	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
会議開催数 3回 参加委員数 延20名	会議開催数 1回 参加委員数 延13名(書面開催)	新型コロナウイルス感染症の影響により未開催 (報告事項のみ資料送付) 次任期における市民委員の公募を行った。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	新型コロナウイルス感染症の影響で会議を開催することができなかったため、委員報酬のほか事務経費の執行なし。
--------------------------------	--

今後の事業の方向性	感染症の状況を注視し、議題の有無に応じて書面開催や会議の中止を検討していく。
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	60	項目番号	2(2)
事務事業名	市スポーツ推進委員								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

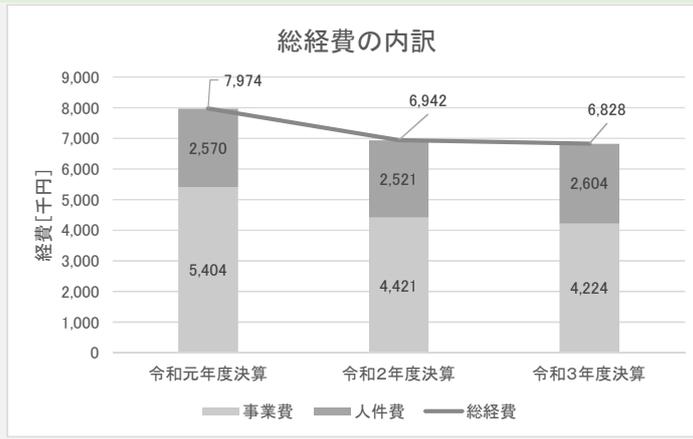
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第32条						
事業目的	スポーツ基本法第32条に基づき、本市スポーツ活動推進のため、事業実施に係る連絡調整並びに実技指導その他スポーツに関する指導助言を行い、地域住民の健康増進、体位向上を図るとともに講習会、研修会等への参加を通じて資質の向上を図ることを目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	スポーツ推進委員は、学区体育振興会を推薦母体とし、委員相互の連絡調整とスポーツ推進のための体制を整備することを目的に、横須賀市スポーツ推進委員協議会を組織しており、定数は322名以内となっている。所属する学区体育振興会主催の健民運動会、歩こう会、児童ソフトボール大会等の企画・運営及び本市主催のレクリエーション関係事業等に積極的に協力参加する。また、資質向上のため、各種研究大会・実技研修会に参加している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,404	4,421	4,224	5,274	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,604	2,595	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	100	100	千円
総経費（a + b）	7,974	6,942	6,828	7,869	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
スポーツ推進委員数 303人 スポーツ推進委員協議会主管学区対抗球技大会開催数 4回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 301人 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 297人 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの活動が中止となった。
----------------------------	---

今後の事業の方向性	スポーツ推進委員は本市のスポーツ振興に欠かせない存在であるため、事業は維持継続し、活発な活動を後押しする。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	60	項目番号	2(3)(4)
事務事業名	自動車損害共済基金分担金および一般事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	スポーツ振興課の業務全般に係る総務的な事務を円滑に遂行する						分野別計画
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,627	1,407	1,563	1,575	千円
b 人件費	857	840	835	832	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,484	2,247	2,398	2,407	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
特になし(内部管理費のみ)	特になし(内部管理費のみ)	特になし(内部管理費のみ)

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）
 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、行事等関連事務臨時職員の一か月あたりの勤務日数が減少し報酬(賃金)支出が減少した一方、令和3年度は通常勤務であったため、その分、前年度比で増額となった。

今後の事業の方向性
 より良いサービス内容の検討や経費節減を継続して取り組んで行く。

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	61	項目番号	2(1)-(5)
事務事業名	学校体育施設開放奨励事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

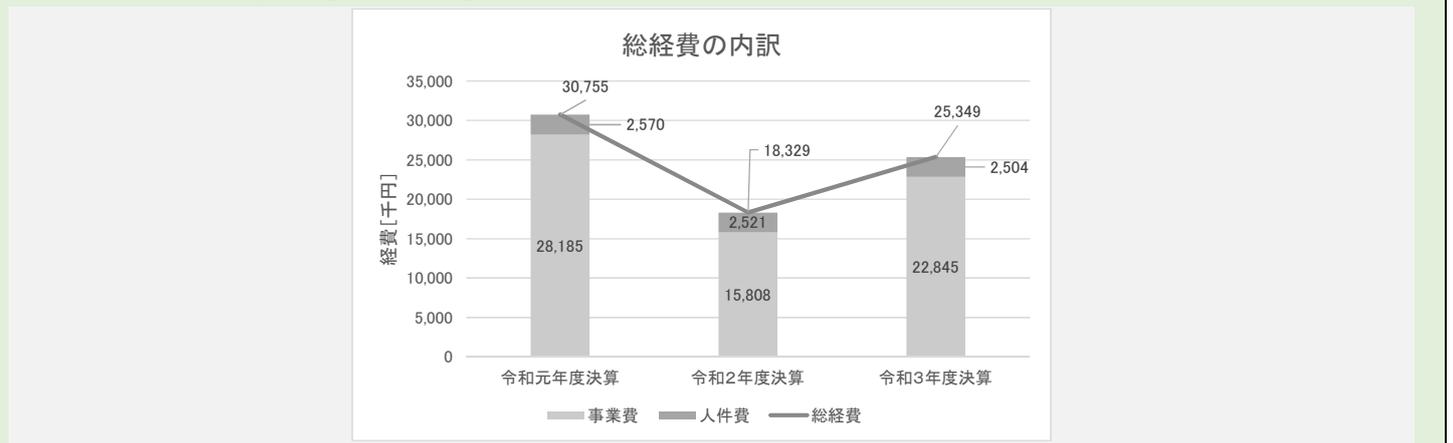
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第13条						
事業目的	スポーツ基本法の主旨により、青少年及び一般地域住民のスポーツ愛好団体等にスポーツやレクリエーションの場として、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、健全な余暇利用を促進する。さらに、地域児童の安全な遊び場及び自由なコミュニケーションの場として、学校体育施設を開放する。					分野別計画	スポーツ推進計画
具体的な事業内容	各開放校に地域住民等で構成された運営委員会を設置し、協議しながら円滑に学校体育施設の開放を行っている。 (1)開放校(全市立小中学校にて開放) 小学校46校 中学校23校(25箇所・旧桜台中学校、旧上の台中学校含む) 合計69校(71箇所) (2)開放施設 体育会館(武道館含む)及び校庭						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	28,185	15,808	22,845	30,854	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	30,755	18,329	25,349	33,349	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
利用人数(延べ) 1,236,119人	利用人数(延べ) 796,140人	利用人数(延べ) 946,597人

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）
令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一定期間の間、事業を中止としたため、令和元年度と比較して支出が減っている。

今後の事業の方向性
円滑な事業運営を図りながら、今後も維持継続。

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	62	項目番号	3(1)
事務事業名	市民スポーツ教室								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

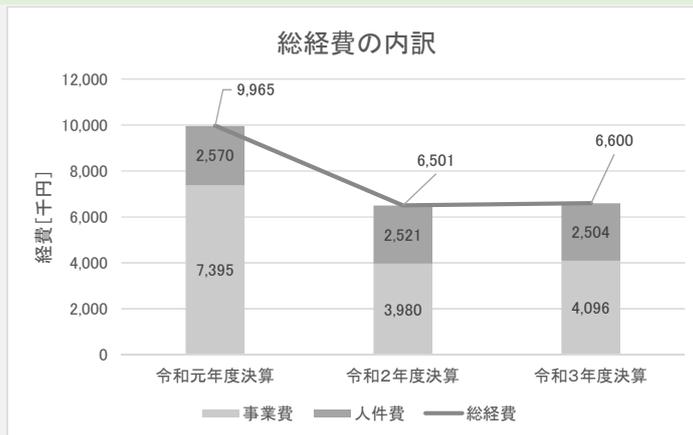
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	スポーツを通して健康づくりを行なうこと、スポーツを習慣化すること、スポーツの基礎技術の習得を図ることを目的に、幼児から高齢者までを対象に、各種スポーツに関する教室を開催し、市民に広く健康的に体を動かす機会を提供する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	各種目団体にスポーツ教室の運営を委託し、下記の20教室を企画。 ・健康体力づくり教室 ・幼児の体力づくり教室 ・楽しくエアロビック教室 ・はつらつ体操教室 ・スポーツ吹矢教室 ・バウンドテニス教室 ・夏休みジュニア水泳教室 ・冬・春休みファミリー・ジュニアスキー教室 ・ジュニア相撲教室 ・夏季小学生ソフトテニス体験教室 ・太極拳教室 ・ジュニア新体操教室 ・なぎなた教室 ・ジュニアバドミントン教室 ・ジュニアラグビー教室 ・ジュニア陸上教室 ・ジュニアレスリング教室 ・ウインドサーフィン教室 ・F・マリノスふれあいフットサルタイム ・F・マリノス夏休み小学生ふれあいフットサルタイム						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	7,395	3,980	4,096	6,297	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	9,965	6,501	6,600	8,792	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
参加者数 2,993人	参加者数 1,628人	参加者数 1,685人

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度において、コロナ禍により教室の中止等があったため。
----------------------------	--------------------------------

今後の事業の方向性	拡充と共に、参加率が乏しい教室の縮小も今後検討。より多くの市民に参加の機会を設けるという視点を持ち、状況を注視していく。
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63	項目番号	3(2)
事務事業名	市民体育大会								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

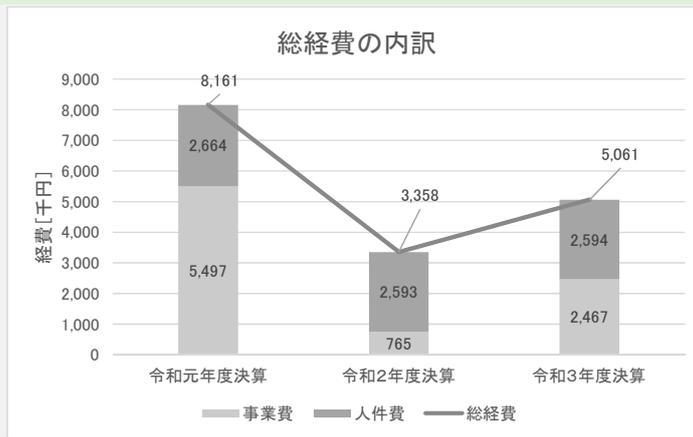
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	市民の体力づくり、本市体育・スポーツの振興と競技力向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	横須賀市体育協会に委託し、同協会加盟の各種目団体により年間を通じて38種目(合気道、アーチェリー、カヌー、空手道、弓道、クレー射撃、ゲートボール、剣道、ゴルフ、サッカー、山岳、銃剣道、柔道、少林寺拳法、水泳、スキー、相撲、ソフトテニス、ソフトボール、太極拳、体操、卓球、ダンススポーツ、テニス、なぎなた、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ハンドボール、パークゴルフ、ボウリング、ボクシング、野球、ヨット、ライフル射撃、ラグビー、陸上競技、レスリング)の市民体育大会を開催する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,497	765	2,467	5,809	千円
b 人件費	2,664	2,593	2,594	2,585	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	94	72	90	90	千円
総経費（a + b）	8,161	3,358	5,061	8,394	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
横須賀市体育協会に委託し、市民体育大会を37種目実施した。	横須賀市体育協会に委託し、市民体育大会を6種目実施した。	横須賀市体育協会に委託し、市民体育大会を18種目実施した。
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの種目が市民体育大会を中止にせざるを得ない状況となった。	
今後の事業の方向性	例年約3万人もの選手が参加する横須賀市最大の競技大会となっている。本市全体のスポーツ振興に効果をあげており、体育協会と連携した事業として維持継続すべきと考える。	

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63	項目番号	3(3)
事務事業名	各種競技大会事業(第68回横須賀市少年野球大会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

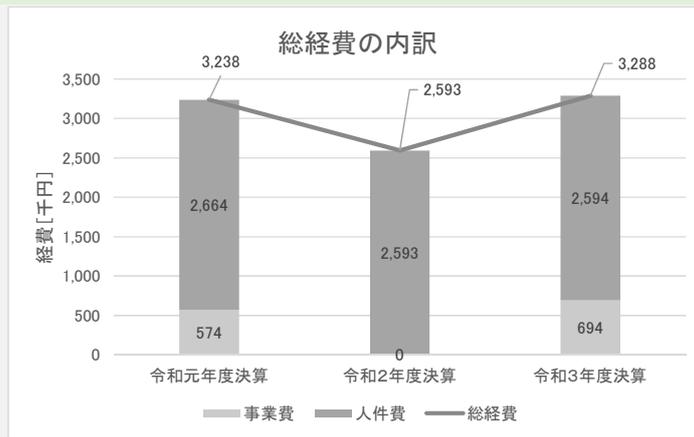
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	青少年の心身の健全育成、地域のスポーツ振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	毎年8月上旬、市内各地域にある少年野球チーム(軟式野球)が一堂に集い、夏季休業中における青少年の心身の健全育成及び地域へのスポーツ振興を図る。小学生、中学生別のトーナメント方式により3日間に渡り対戦する。 本大会は、昭和26年に横須賀警察署ほか市内各警察署と横須賀工業クラブが共同で、戦後の荒廃した社会において野球を通じて青少年の健全育成を図ることを目的として開催した少年野球大会が前身となり、その大会を引き継ぐ形で、昭和29年に横須賀青年会議所と横須賀市教育委員会の共催で第1回大会が開催されてから、令和3年度には68回を数える歴史ある大会である。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	574	0	694	940	千円
b 人件費	2,664	2,593	2,594	2,585	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	94	72	90	90	千円
総経費(a + b)	3,238	2,593	3,288	3,525	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
参加チーム数 学童部18チーム、中部部9チーム	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	参加チーム数 学童部15チーム、中部部8チーム

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	令和2年度は、コロナ禍により開催中止となったが、令和3年度は感染対策を徹底して開催した。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	維持継続すべきであるが、チーム数の減少等が続けば状況に応じて事業縮小等も検討の余地がある。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63	項目番号	3(3)
事務事業名	各種競技大会事業(第76回横須賀市民駅伝競走大会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

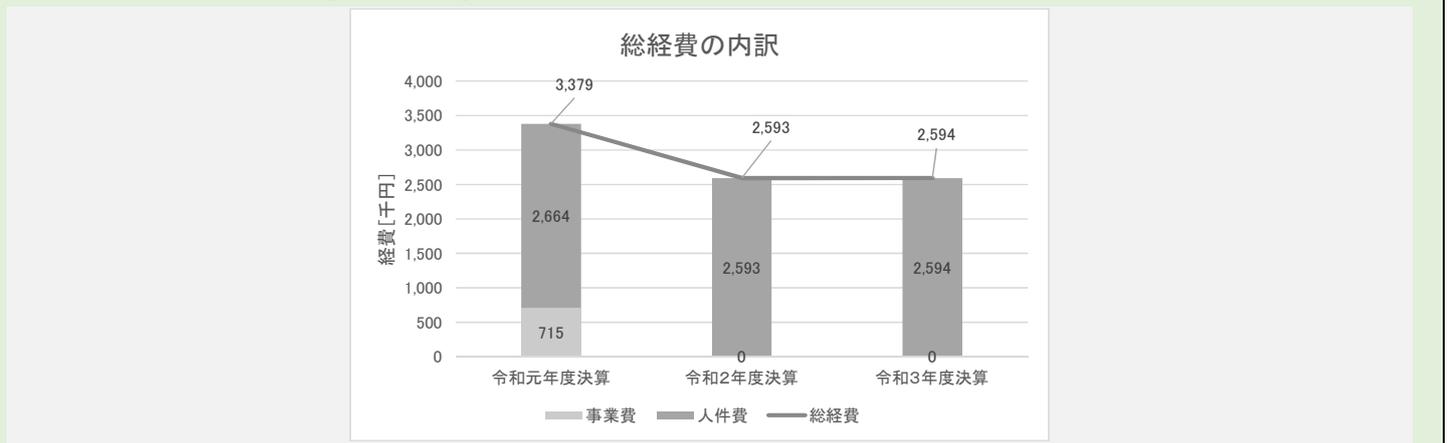
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	市民の健康・体力増進、競技力向上、地域のスポーツ振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	毎年12月中旬、市内在住・在学・在勤の中学生以上で構成された約100チーム600名余りがエントリーし、長井海の手公園ソレイユの丘の園内周回コース全5区間(13.5km)をたすきリレーでつなぎ、健脚を競う駅伝競走大会で、令和3年度には76回を数える歴史ある大会である。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	715	0	0	877	千円
b 人件費	2,664	2,593	2,594	2,585	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	94	72	90	90	千円
総経費（a + b）	3,379	2,593	2,594	3,462	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
参加チーム数 92チーム	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2・3年度において、コロナ禍により開催中止となったため。
----------------------------	--------------------------------

今後の事業の方向性	くりはまの国周回コースで行っていた大会を、平成27年度の第70回大会を機に、交通状況等の課題を解決するためにも、装いを新たに長井海の手公園ソレイユの丘の園内周回コースに会場を変更したこともあり、当面は維持継続していく。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63	項目番号	3(4)
事務事業名	国県体育大会等選手派遣事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

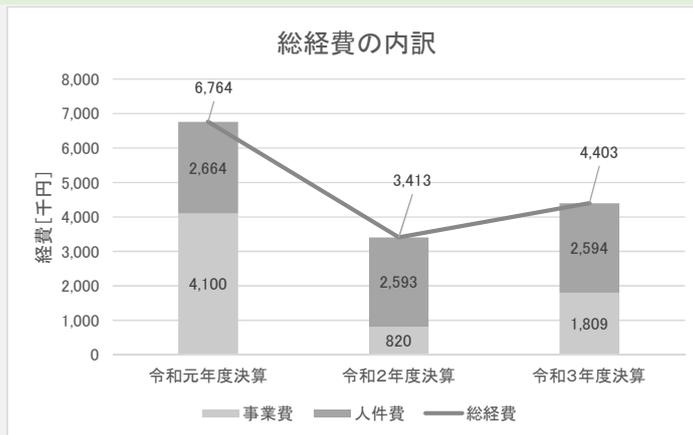
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第6条、第20条						
事業目的	全国大会等の出場選手・チーム・役員のスポーツ大会への参加を支援する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	(1)本市在住・在勤・在学者の国体及び全国大会・国際スポーツ大会出場者に対する支援。 (2)上記(1)の申請者のうち、国の強化選手指定等を受けた者に対する支援。 (3)本市国体等出場者の壮行会開催に係る経費。 (4)市町村対抗かながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し参加することによって、競技力の向上や他都市とのスポーツの交流を図る。 (5)本市ゆかりの東京オリンピック・パラリンピック出場者の壮行会等に係る経費。(2021年)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,100	820	1,809	4,408	千円
b 人件費	2,664	2,593	2,594	2,585	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	94	72	90	90	千円
総経費（a + b）	6,764	3,413	4,403	6,993	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人209人、団体11チーム) 上記のうち、国の強化選手指定を受けた選手に奨励金を交付した。(個人1人) 国体出場者の壮行会を実施した。 かながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し、参加した。(3位)	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人33人、団体5チーム)	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人119人、団体8チーム)
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの大会が中止となり、奨励金の交付件数が減少した。また、国体が中止となったため、国体出場者の壮行会も中止となった。かながわ駅伝競走大会も中止となった。	
今後の事業の方向性	徐々に各種大会が開催されてきており、今後も全国大会等出場者の支援のため維持継続していく。また、かながわ駅伝では本市選手団は毎年優秀な成績を収めているため、維持継続していく。	

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(第83回・第84回市民レクリエーション大会)							所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課			

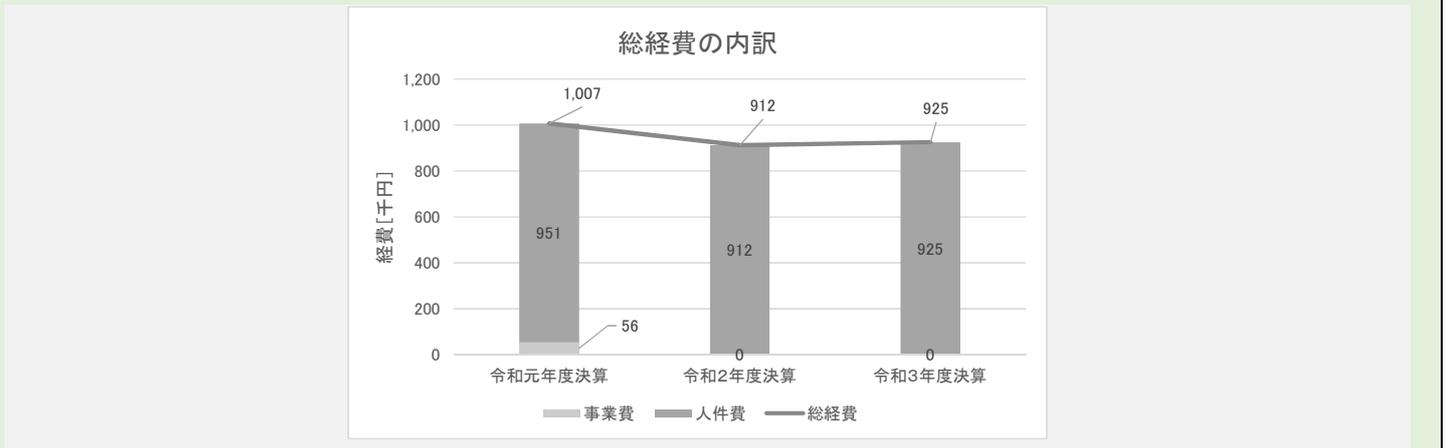
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第24条						
事業目的	本市のレクリエーション活動の普及振興を図り、健康増進・体位向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	横須賀市レクリエーション協会への委託により、市民レクリエーション大会を年2回春と秋に開催。春は総合体育会館と鶴久保小学校校庭を会場に開催。秋はスポーツの日に、南体育会館と明浜小学校校庭、体育館を会場に、別事業である「よこすかスポーツフェスタ」と併せて開催する。インディアカ、ペタンクなど、普段あまり接する機会はないが誰でも手軽にできるスポーツを体験することができる。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	56	0	0	100	千円
b 人件費	951	912	925	922	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	94	72	90	90	千円
総経費（a + b）	1,007	912	925	1,022	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
参加者数（春）688人、（秋）台風19号接近のため開催中止	春・秋ともに新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	春・秋ともに新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度において、コロナ禍により開催中止となったため。
----------------------------	------------------------------

今後の事業の方向性	スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民の健康増進という目的のほかに、ニュースポーツの普及や異種目交流という側面もあり、事業としては維持継続すべきと考える。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(学区対抗球技大会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

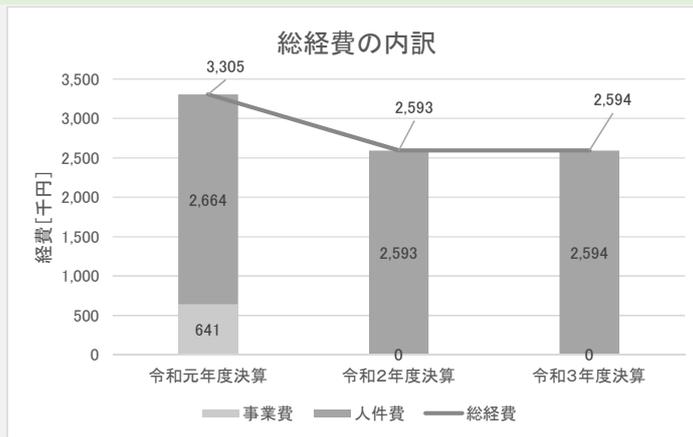
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	生涯スポーツの振興の一つとして、各学区住民の健康増進、体育スポーツの普及をはかり、あわせて学区相互の親睦を深めることを目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	毎年7月下旬と9月上旬、市内各学区の体育振興会に認められた児童ミニバス・児童ソフトボール・成人バレーボール・成人ソフトボールのチームが集い、トーナメント形式で対戦する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	641	0	0	159	千円
b 人件費	2,664	2,593	2,594	2,585	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	94	72	90	90	千円
総経費（a + b）	3,305	2,593	2,594	2,744	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
参加チーム数 児童ミニバス 25チーム 児童ソフトボール 12チーム 成人バレーボール 27チーム 成人ソフトボール 27チーム	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度も前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、大会が中止となった。
----------------------------	---

今後の事業の方向性	参加チームも多く維持継続すべきであるが、参加数の減少が続けば状況に応じて事業縮小や違う種目など検討の余地がある。
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(よこすかスポーツフェスタ2021)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

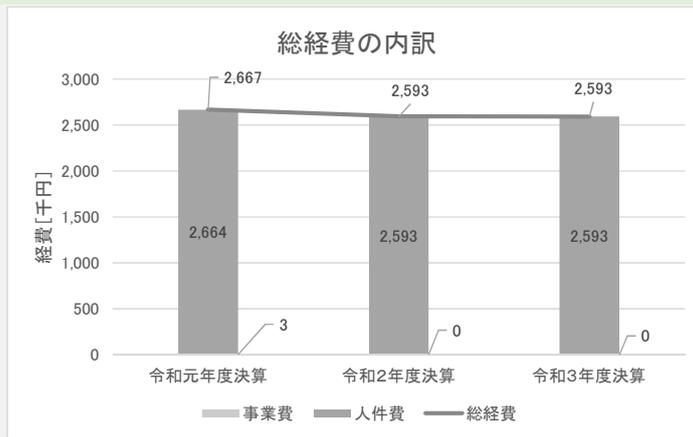
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条・第23条・第24条						
事業目的	本市の体育・スポーツ・レクリエーション活動の普及振興を図り、健康増進・体位向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	市が主催し、各種体育団体の主管で開催。 毎年スポーツの日に市内の体育会館等(不入斗公園・各体育会館・佐島の丘温水プール・横須賀リーフスタジアム・横須賀スタジアム・明浜小学校・くりはま花の国・浦賀ポートパーク・馬堀海岸公園水泳プール)で一斉開催され、各会場で様々なスポーツを体験することができるイベントで、毎年5,000人以上が参加している。 主な種目:陸上競技、バドミントン、アーチェリー、アクアビクス、シットオン・シーカヤックほか多数						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	3	0	0	287	千円
b 人件費	2,664	2,593	2,593	2,584	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	94	72	89	89	千円
総経費(a + b)	2,667	2,593	2,593	2,871	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
台風のため中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	令和元年度は台風のため、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため中止にせざるを得ない状況となった。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	毎回5,000人以上の来場者があり、好評が得られている事業であるため、維持継続すべきと考える。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(早起きラジオ体操の会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

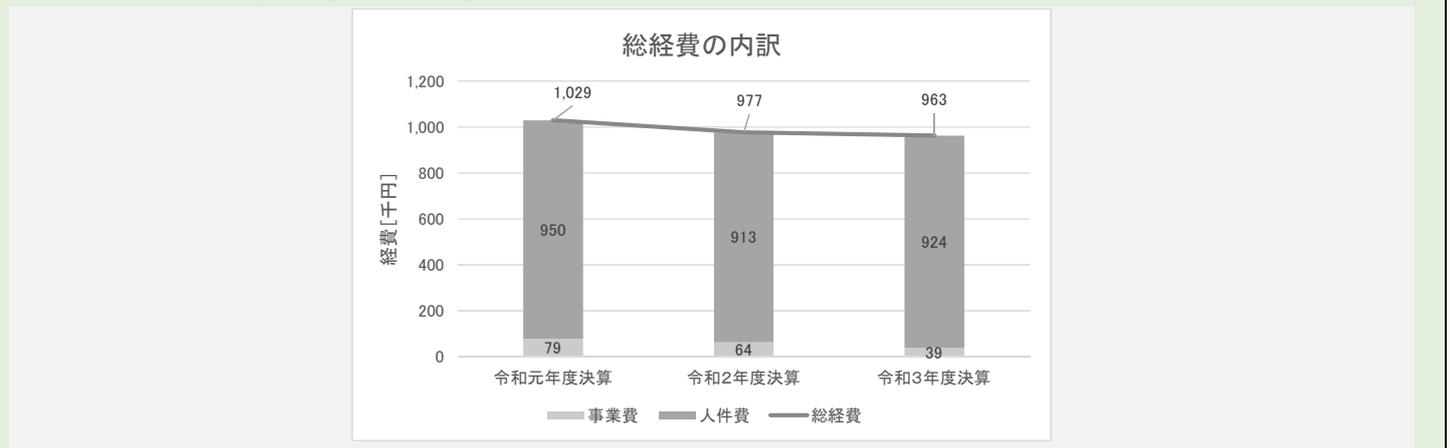
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	本市の体育活動の普及振興を図り健康増進・体位向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	夏休みを利用したラジオ体操の会を実施する各学区体育振興会等に、本市が作成するラジオ体操精勤賞状を配布し、併せて株式会社かんぼ生命保険が作成するラジオ体操出席カードを配布する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	79	64	39	87	千円
b 人件費	950	913	924	921	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	94	72	89	89	千円
総経費（a + b）	1,029	977	963	1,008	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
配布数 ・ラジオ体操カード 12,066枚 ・精勤賞 11,330枚	配布数 ・ラジオ体操カード 10,975枚 ・精勤賞 10,245枚	配布数 ・ラジオ体操カード 9,243枚 ・精勤賞 9,163枚

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）
 平成30年度よりラジオ体操カードおよび精勤賞状の配布数は減少を続けている。原因としては少子高齢化や本市の人口減少、また、新型コロナウイルスの影響による活動機会の減が考えられる。

今後の事業の方向性
 年々減少傾向ではあるものの、要望は依然としてあるため、規模を調整しながら継続していく。

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(市民登山の会)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

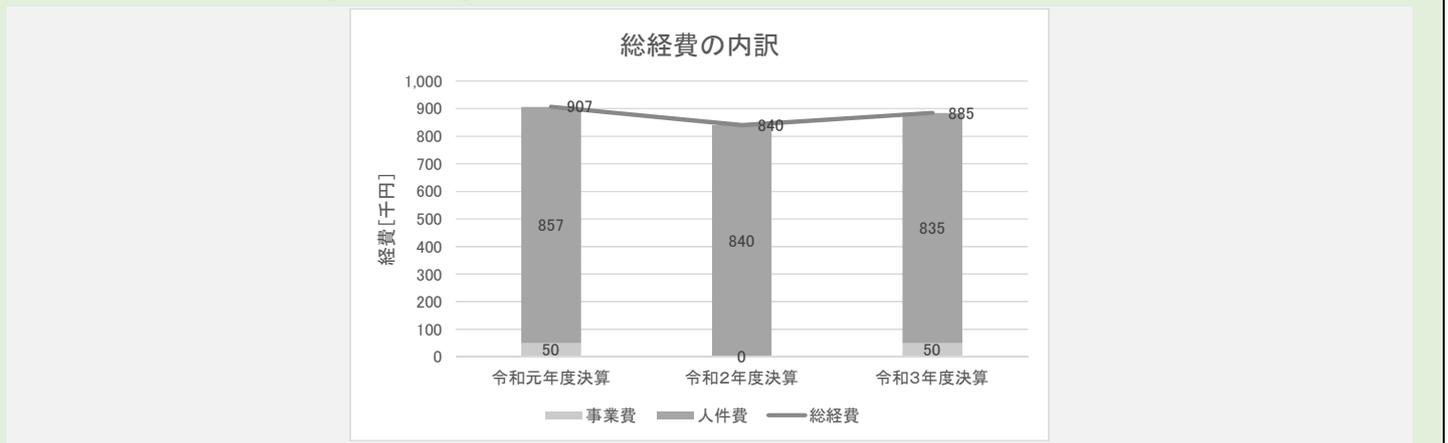
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第24条・第34条						
事業目的	登山を通じて市民の体力向上及び登山の振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	登山への市民参加が得られるよう、また、安全登山普及のため、市民登山の会を実施する横須賀山岳協会に補助金を交付している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	50	0	50	50	千円
b 人件費	857	840	835	832	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	907	840	885	882	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
市民登山の会へ補助金を交付した。(50,000円)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業未実施	市民登山の会へ補助金を交付した。(50,000円)

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業を中止としたため補助金の交付をしなかった。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	市民への安全登山の意識普及を果たしており、事業としては維持継続すべきと考える。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等(スポーツリズムトレーニング普及事業)							所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課			

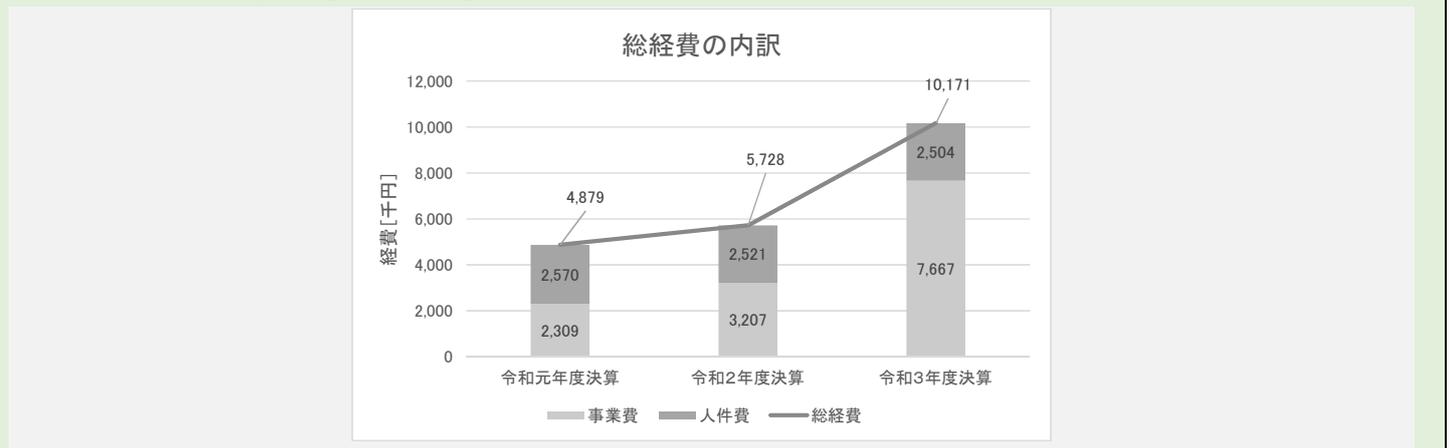
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	スポーツリズムトレーニングを通して市内小中学生がトレーニングを楽しく続けられるようし、運動能力の向上や怪我をしにくい体づくりを目指す					分野別計画	
具体的な事業内容	リズムトレーニングを希望する小・中学校へ、リズムトレーニング協会認定講師を派遣し、体育の授業でリズムトレーニングを行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,309	3,207	7,667	7,841	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	4,879	5,728	10,171	10,336	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
リズムトレーニング派遣事業 実施校 3校	リズムトレーニング派遣事業 実施校 5校	リズムトレーニング派遣事業 実施校 9校

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和元年度より試験的に実施し、令和3年度は予算を10校分に増やしているため、経費も増加している。
--------------------------------	--

今後の事業の方向性	今後も事業を継続し、派遣校数を増やしていく。
-----------	------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	65	項目番号	4(1)-(4)																
事務事業名	社会体育団体等補助金(団体運営補助金)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課																		
(1) 事務事業の概要																												
実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																					
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																											
根拠法令	スポーツ基本法第34条																											
事業目的	体育・スポーツ団体の育成、競技力向上、地域生涯スポーツ振興を補助し、市内の体育・スポーツの普及振興を図る。								分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画																		
具体的な事業内容	社会体育団体等が実施する事業を助成するため以下の補助金を交付する。 (1)横須賀市体育協会補助金 (2)横須賀市レクリエーション協会補助金 (3)横須賀市スポーツ少年団補助金 (4)学区体育振興会補助金																											
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																												
区分		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位																						
a	事業費(予算現額・支出済額)	15,375	14,610	14,760	15,120	千円																						
b	人件費	1,713	1,680	1,669	1,664	千円																						
	正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人																						
	再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人																						
	会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円																						
	総経費(a + b)	17,088	16,290	16,429	16,784	千円																						
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)																												
<table border="1"> <caption>総経費の内訳</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費</th> <th>人件費</th> <th>総経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度決算</td> <td>15,375</td> <td>1,713</td> <td>17,088</td> </tr> <tr> <td>令和2年度決算</td> <td>14,610</td> <td>1,680</td> <td>16,290</td> </tr> <tr> <td>令和3年度決算</td> <td>14,760</td> <td>1,669</td> <td>16,429</td> </tr> </tbody> </table>													年度	事業費	人件費	総経費	令和元年度決算	15,375	1,713	17,088	令和2年度決算	14,610	1,680	16,290	令和3年度決算	14,760	1,669	16,429
年度	事業費	人件費	総経費																									
令和元年度決算	15,375	1,713	17,088																									
令和2年度決算	14,610	1,680	16,290																									
令和3年度決算	14,760	1,669	16,429																									
令和元年度の活動実績				令和2年度の活動実績				令和3年度の活動実績																				
横須賀市体育協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(6,860,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(35団)へ補助金を交付した。(525,000円) 学区体育振興会(46学区)へ補助金を交付した。(7,590,000円)				横須賀市体育協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(6,860,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(28団)へ補助金を交付した。(420,000円) 学区体育振興会(42学区)へ補助金を交付した。(6,930,000円)				横須賀市体育協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(6,860,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(27団)へ補助金を交付した。(405,000円) 学区体育振興会(43学区)へ補助金を交付した。(7,095,000円)																				
年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)		令和3年度において、横須賀市スポーツ少年団が1団減少(△15,000円)、学区体育振興会の補助金申請件数が1件増加(165,000円)。																										
今後の事業の方向性		市と連携して本市のスポーツ振興等に取組んでいるため、事業は維持継続し、引き続き各団体の活発な活動を後押しする。																										

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	65	項目番号	4(6)
事務事業名	社会体育団体等補助金(地域生涯スポーツ振興事業補助金)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

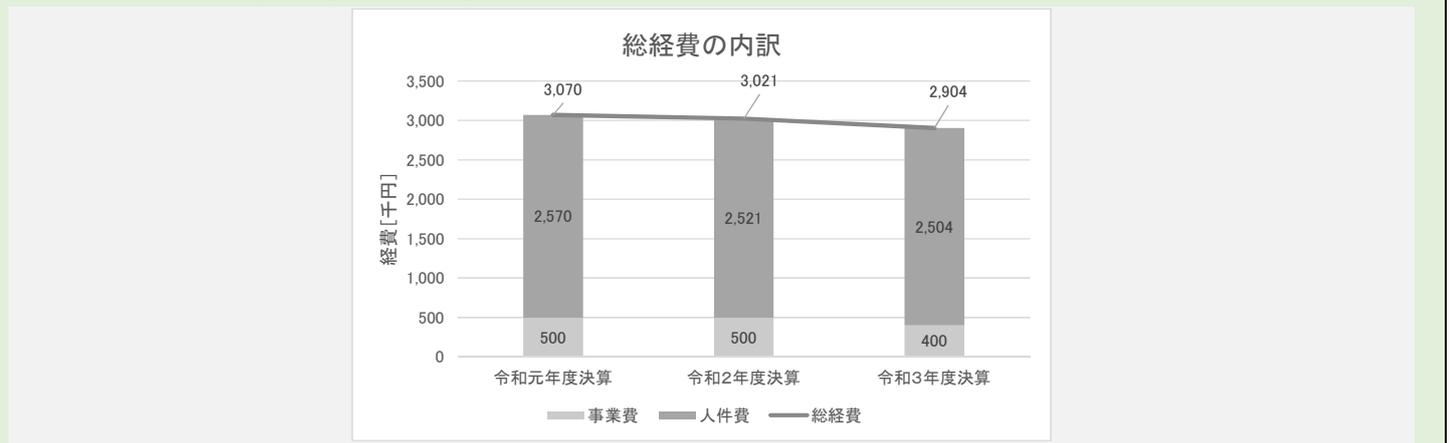
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第34条						
事業目的	市民への地域生涯スポーツの普及振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	・横須賀市体育協会に対して地域生涯スポーツの普及振興のための活動費を助成する。 ・体育協会では、よこすかスポーツフェスタでの各種スポーツの無料体験コーナーの実施、1万メートルプロムナード・ウォークの開催等を実施している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	500	500	400	500	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	3,070	3,021	2,904	2,995	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
横須賀市体育協会へ補助金を交付した。	横須賀市体育協会へ補助金を交付した。	横須賀市体育協会へ補助金を交付した。

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	横須賀市体育協会に対して地域生涯スポーツの普及振興のための活動費を助成したが、新型コロナウイルスの影響により同協会の一部活動が中止となったことに伴い、不用額の100,000円を市へ戻したため。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	市と連携して本市のスポーツ振興等に取組んでいるため、事業は維持継続し、引き続き各団体の活発な活動を後押しする。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	66	項目番号	6(1)
事務事業名	スポーツ基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

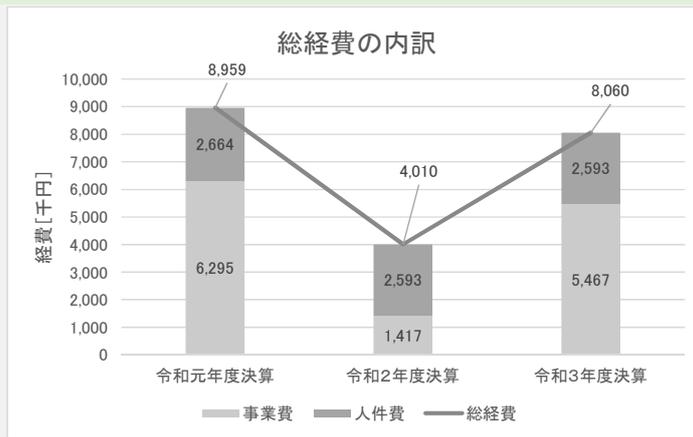
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	基金条例						
事業目的	施設の整備(体育会館運営事務費)やスポーツに参加する人への支援(国県体育大会等選手派遣事業)などにスポーツ基金を充当し、市民スポーツの振興に資する。						分野別計画
具体的な事業内容	当年度中の「ふるさと納税」による指定寄附と運用利子で得た収入を積み立てる。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	6,295	1,417	5,467	5,992	千円
b 人件費	2,664	2,593	2,593	2,584	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	94	72	89	89	千円
総経費(a + b)	8,959	4,010	8,060	8,576	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
ふるさと納税による指定寄附 6,295,000円 運用利子 77円	ふるさと納税による指定寄附 1,416,000円 運用利子 564円	ふるさと納税による指定寄附 5,467,000円 運用利子 31円

年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	ふるさと納税の寄附額によって、その年々の総経費に増減が生じる。 令和3年度は、全市的にふるさと納税寄附額が多かったことに伴い、スポーツ基金への寄附額も前年度と比較して増額となった。 ※令和元年度はスポーツ基金への高額寄附があったため例年と比較し増額となった。
--------------------------------	---

今後の事業の方向性	積極的な財源確保のため、引き続き継続していく。
-----------	-------------------------

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	67	項目番号	7(1)
事務事業名	一般事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

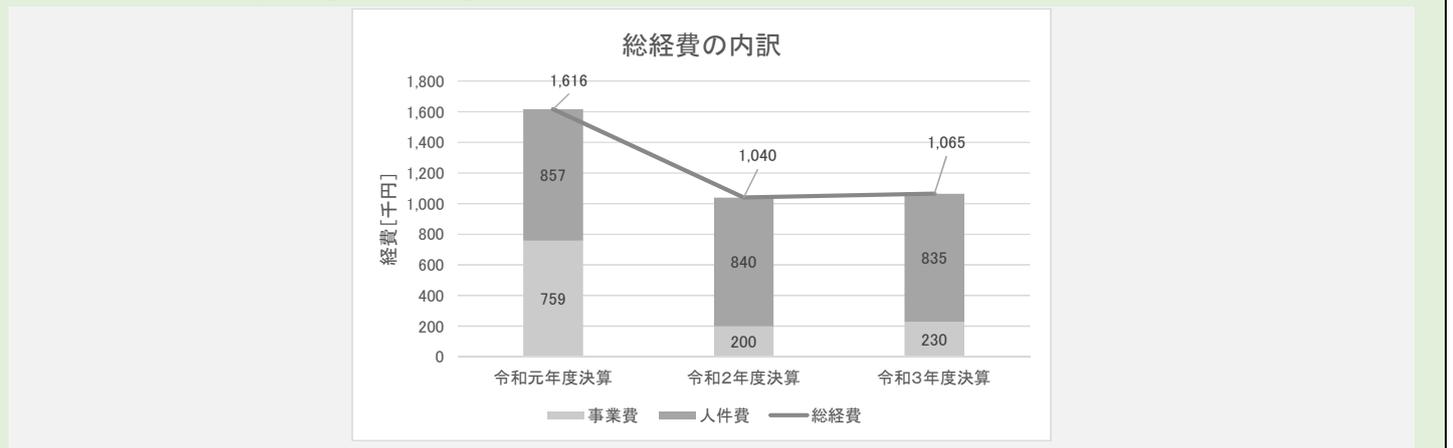
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	スポーツ振興課における事務を円滑に進める					分野別計画	
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	759	200	230	501	千円
b 人件費	857	840	835	832	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,616	1,040	1,065	1,333	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
特になし(内部)管理費のみ	特になし(内部)管理費のみ	特になし(内部)管理費のみ

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）

令和元年度の経費は、BMX大会(広島)への視察により出張旅費が発生したため経費増となっている。令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、各イベント等が中止になったため経費が減少している。

今後の事業の方向性

より良いサービス内容の検討や経費節減を継続して取り組んで行く。

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	67	項目番号	7(2)ほか
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	--------

事務事業名	スポーツ表彰事業							所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課
-------	----------	--	--	--	--	--	--	-------	----------------------

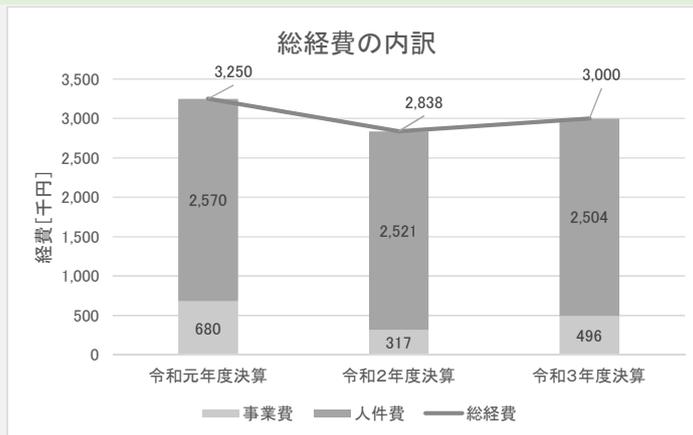
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第20条						
事業目的	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方の表彰並びに本県の代表として全国、世界大会へ出場した選手を表彰することにより体育行政全体の活力を呼びおこし、かつ選手の技術向上を目指す意識を高める。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育功労者に対しては、本市体育振興に功績にあった者に対して、また、スポーツ栄光章に対しては、本県の代表選手として全国大会等に出場し、顕著な成績を挙げた者に対して、毎年度末の2月に被表彰者を一堂に会し表彰状及び、功労者には楯と徽章、栄光章にはメダルを授与し、その功績を称えている。また、オリンピック等において顕著な成績を収めた個人または団体に横須賀市スポーツ大賞・特別賞の表彰を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	680	317	496	975	千円
b 人件費	2,570	2,521	2,504	2,495	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,250	2,838	3,000	3,470	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(9名) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人58人、団体11チーム)	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人7名、団体1チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人9人、団体1チーム) 国際大会で顕著な成績を収めた選手2名をスポーツ大賞として表彰した。	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人8名、団体1チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人15人、団体8チーム) サッカー日本代表としてワールドカップカタール大会出場を決めた本市出身の伊東純也選手を激励する懸垂幕及び横断幕を製作した。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの大会が中止となったことから、スポーツ栄光章の被表彰者が減少した。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	現状を維持し今後はアクティブスポーツなどの新しいスポーツも念頭に入れて進めていく。
-----------	---

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	69	項目番号	2(1)
事務事業名	体育会館管理委託費										所管部課名	文化スポーツ観光部	
												スポーツ振興課	
(1) 事務事業の概要													
実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定						
分類	施設の維持管理に係る業務												
根拠法令	体育会館条例												
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等社会振興の場の提供や市民の健康増進のため、体育会館施設の運営維持管理業務を委託する。										分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画	
具体的な事業内容	体育会館施設の第4期(平成30年4月1日～令和4年3月31日)指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ管理運営を委託し、管理にかかる委託金等を支出する。 体育会館施設: 総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)、北体育会館、南体育会館(くりはま花の国プール含)、西体育会館(佐島の丘温水プール含)												
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)													
区分		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位							
a	事業費(予算現額・支出済額)	566,256	567,325	575,758	575,758	千円							
b	人件費	2,570	2,521	4,173	4,159	千円							
	正規職員	0.3	0.3	0.5	0.5	人							
	再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人							
	会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円							
	総経費(a + b)	568,826	569,846	579,931	579,917	千円							
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)													
令和元年度の活動実績				令和2年度の活動実績				令和3年度の活動実績					
<p>指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額566,256千円を支出した。</p> <p>体育会館施設使用人員: 757,162人</p>				<p>指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額567,325千円を支出した。</p> <p>体育会館施設使用人員: 247,844人</p>				<p>指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額575,758千円を支出した。</p> <p>体育会館施設使用人員: 509,849人</p>					
年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)		<p>令和3年度は西体育会館競技場・小体育室、くりはま花の国プール全館の工事休館、また、新型コロナウイルスの影響により、コロナ前の平常時と比較すると利用人数は大幅減となっている。</p> <p>総経費は、上記工事休館に伴って生じた指定管理者への営業損失分の補填を行ったことにより前年度と比較して増額となった。</p>											
今後の事業の方向性		<p>今後も指定管理施設として指定管理者に委託し運営する。運営にあたっては、利用料金収入の増を目標としながら、多くの市民へ運動の場を提供する。</p>											

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	70,71	項目番号	3(1)-(4)
事務事業名	体育会館営繕工事費(競技場特定天井改修事業以外)								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育会館施設の改修工事を行う。 体育会館施設:総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)、北体育会館、南体育会館(くりはま花の国プール含)、西体育会館(佐島の丘温水プール含)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費(予算現額・支出済額)	208,320	119,280	204,289	266,102	千円
b 人件費	2,570	2,521	4,173	4,159	千円
正規職員	0.3	0.3	0.5	0.5	人
再任用職員(短時間を含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)	0	0	0	0	千円
総経費(a + b)	210,890	121,801	208,462	270,261	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
<ul style="list-style-type: none"> くりはま花の国プール熱源その他工事 総合体育会館競技場トイレ改修工事 西体育会館空調設備改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> くりはま花の国プール改修その他工事 くりはま花の国プールのトイレほか改修機械設備工事 くりはま花の国プール改修その他電気設備工事 くりはま花の国プール自動制御設備ほか改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> くりはま花の国プール改修その他工事(継続費) くりはま花の国プールのトイレほか改修機械設備工事(継続費) くりはま花の国プール改修その他電気設備工事(継続費) くりはま花の国プール自動制御設備ほか改修工事(繰越明許) サブアリーナ空調改修工事 西体育会館外灯改修工事 メインアリーナ煙突断熱材改修工事

年度ごとの推移の分析(【総経費の内訳】の増減理由等)	工事の内容や単価、件数によって、その年々の総経費に増減が生じる。
----------------------------	----------------------------------

今後の事業の方向性	施設の安全性や利用者の利便性向上のため必須事業である。今後においても優先度を鑑み予算計上を継続していく。
-----------	--

令和4年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	72	項目番号	4(1)
事務事業名	体育会館運営事務費								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

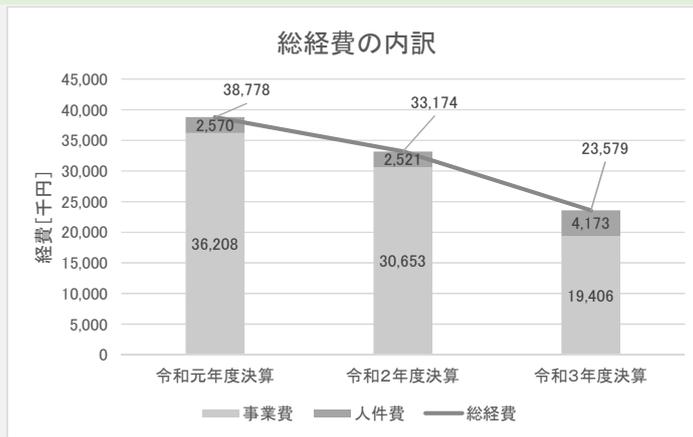
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	修繕、スポーツ用具等備品の購入、公共施設予約システムの通信機器の使用など、体育会館施設の運営にかかる事務費を計上し執行する。 体育会館施設：総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)、北体育会館、南体育会館(くりはま花の国プール含)、西体育会館(佐島の丘温水プール含)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和3年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	36,208	30,653	19,406	26,465	千円
b 人件費	2,570	2,521	4,173	4,159	千円
正規職員	0.3	0.3	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	38,778	33,174	23,579	30,624	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和元年度の活動実績	令和2年度の活動実績	令和3年度の活動実績
修繕料 19,526千円 建物総合損害共済基金分担金 493千円 公共予約システム関連経費 1,357千円 器具運搬業務委託 315千円 体育器具購入費 14,486千円 事務費 31千円	修繕料 16,591千円 公共予約システム関連経費 781千円 器具運搬業務委託 200千円 体育器具購入費 12,526千円 事務費 555千円	指定管理者選考委員会委員報酬 78千円 修繕料 12,370千円 公共予約システム関連経費 782千円 業務委託 1,297千円 体育器具購入費 4,838千円 事務費 43千円

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	修繕、備品の内容や単価、件数によって、その年々の総経費に増減が生じる。 令和3年度は修繕、体育器具購入費の件数が減となったことが、前年度と比較し支出減となった理由である。
----------------------------	--

今後の事業の方向性	施設の安全性や利用者の利便性のため必須の事業である。今後においても修繕や備品購入は緊急性や優先度を鑑み予算計上を継続していく。
-----------	---